新京日日新聞
夕刊 一月九日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税 一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話（編輯部專用三二二五 營業部專用三三〇〇）
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

附屬地行政權移讓 滿鐵の希望意見決定

學校のみは財團法人學校組合に經營せしむ方針

水道、病院、勸業施設は保留

【大連國通】附屬地行政權移讓に對する滿鐵の態度を決定すべき附屬地行政權調整對策協議委員會は六、七兩日開催されたが右委員會に於て滿鐵の希望意見を左の如く決定當局に提出することゝなつた、隨つて滿鐵の協議委員會は一應打切ることゝなつた

△滿鐵に保留せんとする地方施設

一、附屬地水道施設
二、附屬地滿鐵病院
三、試驗所其他の勸業施設

附屬地水道施設は建設の目的が鐵道給水にあつた點に鑑み滿鐵が依然保留するを至當とし滿鐵病院は特殊病院を除き鐵道病院として滿鐵經營下に置かんとするものである

△移讓すべき地方施設

一、學校
二、特殊病院（療病院、婦人病院）
三、道路、公園其他の公共施設
四、圖書館
五、課稅權

移讓すべき施設の中、學校は滿洲國の經營下に委ね難きを以て滿鐵、外務省、居留民の三者を以て財團法人の學校組合を設立、經營に當らしむるを適當とするとの希望を決定した尚課稅權は明年末地方施設を移讓すると同時に自然消滅的に移管されるものである

内部機構修正補足に 滿鐵愈よ乘出す

滿洲國經濟建設の一段落で

【大連國通】滿鐵では昭和十一年度に於て三千六百萬圓といふ事變以來最初の緊縮豫算を以て滿鐵財政の健全化を圖ると共に最近膠着狀態に陷つた資金繰りの

圓滑 を促し且つ日本財界の滿鐵に對する不安人氣一掃に邁進する事となつたが、滿洲國の經濟建設一段落に引續く常道化と並行して滿鐵の非常時的經營方針も十一年度を境として常道化される事となり、從つて滿鐵今後の經營の主要なる眼目は滿鐵内部の修正補足に置かれる事になつた譯で、その具體策として昭和十一年度を以て行詰りとなる資金計畫の打開がその隨一であり、次で滿鐵機構の改革並に治外法權撤廢に伴ふ附屬地行政權の移讓問題等となつたものである

一、資金問題 滿鐵社債は十一年度八千萬圓の發行を以て社債發行限度に達し一方株金は十一年度十二年度を合して僅かに七千二百萬圓を殘すのみとなり、本年の十二年度豫算編成を前に之が打開策を樹立する必要に迫られて居るのであるが之が方法は社債發行限度擴張に依るべく、滿鐵は資金五ケ年計畫を樹立して目下佐々木理事が東京でシンヂケート銀行團と折衝中である、即ち滿鐵定款第五十四條後段に示されたる日本帝國政府より保證を受くべき社債の總額は拂込株金額の二倍以内にして資本總額を超過せざるものとすの項を削除し完全に拂込株金の二倍とするものである此方法による時は現在の政府未拂込を除く六億五千六百廿萬圓の社債發行力が十三億一千二百四十萬圓に擴張されることゝなり、玆數年間の資金繰りは充分に行ひ得る豫定である

一、機構改革問題 滿鐵機構改革問題は先づ全滿鐵道機構の統一を以て始まるものであるが滿鐵では既に總務部に於て改革案を作成し近く重役會議に附議する運びとなつて居る鐵道機構の統一は滿鐵々道部と鐵路總局を機構的に統一し職制上の一元化を圖らんとするものであるが同時に滿鐵總局を通じて諸給與制度の統制か並行的に行はれる要するに機構改革は重複を避け滿洲、北支の新情勢に

順應 すべきものとする點に主力が注がれて居る。

排日を絶滅し 親善具體案を示せ

外務の對南京會議策決定

【東京國通】支那の現地情勢報告の爲歸朝した須磨南京總領事は南京會議に對する帝國政府の態度につき中央部と充分なる打合せを了し、廣田外相の重要對支訓令を携行近く

南京 に歸任有吉大使に對し重要復命をなすことになつたので外務省では八日午後一時より重光次官、桑島東亞局長、守島同第一課長は須磨總領事を交へ中央、現地の見解を披瀝して南京會議に對する最後的協議會を開催したが、右會議で決定した帝國政府の方策は左の如きものと確聞する

一、南京政府はその提唱する南京日支國交調整會議をして成果を收めしめる爲親善會議開催に充分なる如き日支友好關係の回復の爲善處すべくその爲には再燃の排日抗日運動絶滅の措置をすべきこと

一、而して南京政府は眞に南京會議の成果に期待し日支兩國の親善關係の平常化を希望する以上會議の議題範圍を至急決定、南京會議に提出すべき支那側親善具體案を提出することを絶對に必要とすること

即ち南京政府は昨年十二月二十七日丁駐日代理大使より南京會議の開催を重光次官に申入した時我方の要求に從つて確約した重要案件を可及的速に回答すべきものであり右一重要案件の充足あつて始めて我が方は南京會議の具體的措置を講ずべきことに意見の一致を見た模樣であるが廣田三原則の具體的實際的適用の要求が我方より提出さるべきことは必須の情勢であり、南京親善會議に

藉口 して日支兩國間の諸懸案解決を始め當面の諸案件を糊塗し去らんとするが如き南京政府の態度に對しては嚴正なる方針を以て對處せんとするものであることが判明した

法制局長官決定

【東京國通】金森法制局長官の後任に就て政府は吉野商工次官を起用すべく非公式に交渉したが、町田商相が同氏を離さないので結局内田鐵相等の推薦する大橋遞信次官を起用することに内定、望月遞相を通じて交渉中の結果承諾したので來る十日の閣議で決定發令されることゝなつた

日本全權部徹底的に 建艦通告案を爆撃

八日の軍縮第一委員會

【ロンドン八日發國通】海軍縮小會議第一委員會は八日午後三時十八分から開會された永野、永井兩全權は岩下少將以下の專門委員會を帶同して出席、二日に

亘る 協議の結果到達した對策を胸に建艦通告案を徹底的に爆撃する決意をもつて悠容迫らず議場に乘込んだ、議長モンセル英代表開會を宣した後英國政府の建艦通告案を提示し、刻下の情勢に於て同案を採擇する以外に建艦競爭迴避の策なきを强調した、次でフランス代表も獨自の建艦通告案を提出し更にイタリー代表も一ヶ年を限度とする建艦通告案を提示し、英、佛、伊三國代表の提案が出揃ふや各國代表間の討議に入つたが、討議は未だ序曲の範圍を出ず、要するに質疑應答に終始したと傳へられる

但し永野全權は既定方針に

基き 建艦通告案に關する帝國政府の決意を闡明し次の如く强調した

一、建艦通告案は軍備縮小の本質からみれば單に第二義的な事項に過ぎぬ、ワシントン、ロンドン兩條約も量的制限案に對する附隨的條項として上られて居るに止まる

一、苟も軍縮の成果を期する以上是非とも量的制限案の達成を圖るのが第一義である、量的制限案に就き他に審議すべき提案がないなら改めて帝國政府の共通最大限案を審議されたい

永野全權の發言終るや英米佛伊の四ヶ國代表並に自治領代表は俄然一齊に通告案擁護の戰線を張り、通告案は量的制限案の一半に外ならぬ、故へて通告案を回避する理由がないではないかと永野全權に詰寄り、討議參加を迫つたが永野全權はあく迄量的制限案討議を頑强に固執した、然るにモンセル議長は遂に日本代表は建艦通告案の討議に參加しないと諒承する旨宣言し、右諒解の下に十日午後三時十五分第一委員會を續開する動議を提出滿場異議なく之に贊成し午後四時四十六分に至り第一委員會は散會した、斯くして建艦通告案に關する討議は何等具體的結論に

到達 しなかつたが、帝國全權團の不同意により結局同案が流産に歸する事は動かぬところとみられる

軍縮本會議 愈よ大詰に近付く

【ロンドン八日發國通】永野全權が建艦通告案反對を表明した

結果 モンセル議長は永野全權の反對を議事錄に止める旨確言、八日午後の第一委員會は危機を孕みつつ散會したが英國政府最後の切札たる通告案も成立の見込みなく海軍縮小本會議は今や愈々大詰に近づいた感が深い、英代表は九日帝國全權其他各國代表との間に議事手續きに就き折衝を遂げ局面打開策に就き最後の努力を傾倒すると豫想されるが議事手續きに就き各國代表間に意見の一致を見るに至らぬ場合には第一委員會は十日午後三時十五分よりの會議に於て量的制限案を引續き協議するか否かの重大方針を審議する段取りと解される、而して萬一委員會が日本代表の態度を主張し量的制限案の討議を續行するのは無意義だとの結論に到達する場合には永野全權としては恐らく會議脱退をも辭せぬ帝國政府の決意を

闡明 する方針と解せられ會議は事實上十日を以て終末を遂げるのではないかと見られてゐる

滿洲國日系官吏エキスパートに聽く（四）

治法撤廢を控へ 第二の財政的建國へ

日本側、各部の協力を望む

總務廳主計處長 古海忠之

滿洲國は五族協和の礎石の上に建設された多元的な國家であるが、文化的には極めて立體的である、新京、奉天、ハルビン等の大都市は二十世紀文明を享受してゐるにも拘らず地方の文化程度は極めて低く興安各省の如きは三、四世紀も遲れ未だに貨幣經濟さへ確立されてゐない現狀にある、それ故滿洲國政治の要は如何にして距離を縮少し廣さを狹めるかにあるのであるが、日本人の劃一癖によつて平面的な行政を行ひ勝ちであり而も行政の對象を都市においてゐるため地方においては實狀に即せざる施設、行政が見受けられる譯であるが、現地の狀勢に適應せる行政をなし經濟主義によつてこそ初めて滿洲國の財政が確立出來るのである

▽……△

康德四年度は治外法權の撤廢實施と共に滿洲國財政の峠である、この峠を如何にして越すかが今年與へられた滿洲國の大きな試練であらう、今年の財政は豫算統計（特別會計を含む）三億三千七百五十萬圓で日本の日淸戰役後の財政狀態にして世界的にみれば二等國の中位に當るが、總務廳、滿鐵、關東軍、關東局等の日本側の諸施設並に財政的協力を倂せ考へれば實に堂々たるものである、本年度の一般歲計豫算は二億一千九百四十萬五千圓で歲計の膨脹は産業の開發、人口の增加の程度によつて決定されるが、一般歲計が三億に達するまでには恐らく今後五ヶ年を要するであらう、一般歲計が三億になれば特別會計歲計が一億五千萬に膨脹するから總計四億五千萬圓位にはなるものとみられる

▽……△

康德四年度に關東局警察官の引受けが豫定されてゐるから引受け警察官約三千四百名として約一千二、三百萬圓、それに諸施設費を合計すれば來年度は治外法權撤廢に關する經費だけでも約二千萬圓は增加するとみなければならないこの費用の捻出を如何にするかといふ問題こそ今年の重要な財政問題となつて來た譯である、財源捻出の方法は

一、支出の緊縮
二、收入の增加
三、借入金

の三通りが考慮されるが、施設費はともかく全經費を特別會計として借入金（赤字公債）によることは滿洲國の現狀に照して不可能である、從つて支出の緊縮と收入の增加が方法論として殘された問題となるが、人件費の如き經常的なものは經常費として捻出しなければならない、先づ收入の增加であるが關稅收入が平常化した今日考へられるものは增稅か新稅の設定であるが、これ又現情勢からみて實行不能とみるべきである、殘るはたゞ一つ支出の緊縮による方法しかないことになるが、この問題は大いに研究の餘地があらうと思ふ、即ち一般的行政機構の整理、冗員の淘汰、部分的行政整理によつて相當程度の財源を生むことは不可能ではないと思ふ、冗員の淘汰といつても從來も續けて來たものでこの際特に減俸とか人員整理を行ひ度くないと思つてゐる、本年度豫算編成に際しても各部でよくこの邊の事情を諒解し緊縮方針を採つてくれたので僕としては來年度の見透しがついたと確信してゐる、治外法權の撤廢は日滿兩國の國策によつて定められた事實であるから財政的に苦しくても滿洲國は立派にこれを仕遂げなければならないこの點に各部の協力による擧國一致による難局打破が要望される譯である

▽……△

一方關東局、滿鐵にしても行政權の返還によつて行政費が減少しそれだけ負擔が輕減されることになるのであるからその限度において滿洲國に對し何等の寄與を期待しても差支へない譯であるが、期待は飽くまで期待であつて滿洲國としては獨力をもつて實行出來るだけの覺悟と準備が必要である、本問題は日本政府とも關係ある問題でもあり今後の折衝に待つべき問題であるが若し日本側の寄與が實現すれば難局は越へ易くなる然し越へ易くなるだけであつて依然として難局は前途に横はつてゐるのであつて行政機構全體にわたる合理化によつて新財源の捻出を斷行しなければならない、主計處では近く本問題に關する全面的調査に着手するが今年は以上のやうな意味で財政的に第二の建國とみるべきであらう主計處としては各部を始め各機關の理解ある協力を望んで止まない

今年の問題

人事往來

▲味生勝氏（日本ビクター）八日午後來京國都ホテル
▲森山富氏（中央銀行）同
▲小道重作氏（同）同
▲後藤亨氏（同）同
▲淺岡信雄氏（大同殖産）同
▲福本順三郎氏（大連稅關長）八日午後大連へ
▲金井警視（奉天警察署長）同
▲井上良治氏（沖電氣大連支店支配人）八日午前來京ヤマトホテル
▲加藤彬氏（同店員）同
▲菅沼壽男氏（同）同
▲森田良一氏（三江省公署）同
▲渡部重吉氏（大阪商船會社大連支店長）同
▲戸田正三氏（京都帝大教授）同
▲鈴木謙則氏（滿洲中央銀行ハルビン支行員）同
▲工藤雄助氏（奉天會社員）同
▲山根三郎氏（滿鐵社員）同
▲小宮熊男氏（ハルビンサツポロビール會社員）八日午後來京名古屋ホテル
▲皆川成司氏（大林組）同
▲黑川良太郎氏（大阪綿布商）同
▲三浦弘氏（大連會社員）同
▲中村喜太郎氏（陸軍少佐）同
▲岩重達三郎氏（牡丹江光武商店員）同
▲田中喜樹氏（同）同

その日〳〵

□附屬地行政權移讓に伴ふ滿鐵の方針決定、學校の經營を別途に考慮した處に苦心の跡

□英米佛伊の軍縮對案つかみ處なし軍縮會議の山は見えたりは早いか

□新春早々憲兵隊の捕物陣に凱歌、昨年來の借金はまだ戻せぬが、まあ氣長に

□あす國技館春場所の蓋開く、久し振り東西に横綱を擁し、角道の春朗か

□今春學窓を巣立つ新京高女生職業戰線への進出目覺し、世相を語るには物淋し

＝姉妹の魅力＝ 柳咲子作

……淺草（十一）

「どんな女？」

「忘れちやつたよ。覺えてなんかゐる程の女ぢやないよ」

「ほんとに。覺えてゐないの？さう云ふものかしら……」

「まあ、そんなものだらうネ」

「覺えてゐない位なら、どんな女でもいゝわけだわネ」

「さう問ひ詰められちや、困るなア……」

「でも、はつきり云つてよ！」

「はつきりなんかいへやしない。其の時々の氣紛れなんだから」

「レヴューの踊り子なんかは、どう？」

「なんだつて！」

中森は、はじめて、百合子の氣持ちが判つたやうな氣がして、ジツとその顏を見詰めると、思ひなしか彼女の眼には淚があるらしいのです。

すると、百合子は、

「あたし？」

と云つて、こくりと折れたやうに正面を向いたまゝ、首をまげて然も、身體は硬直したやうになつて、ぽろり、ぽろりと淚をこぼしてゐるのです。

中森は、冗談とも眞面目ともつかないやうに、

「ぢや、百合子を？」

と、云つて、一寸、言葉をきつたが、

「買へツと云ふのかい？」

と、いつた。彼女は、こくりと、また頷くやうにして見せた。

中森は、子供を抱き寄せるやうに、彼女の肩に手を捲くと、彼女の柔かい身體が、倒れるやうに寄つてきた。

そして、

「いけないかしら？」

と、云つた。中森の顏を胸に見上げるやうにして。――

中森は、その彼女の瞳を、やゝつくやうにぢつと見詰めて、

「百合子！ 君、お金がいるのかい？」

と、云つた。彼女は、中森の顏を見たまゝかぶりを振つてゐました。

「さう云つても、金なんかありやアしないがね。百合子を買ふためだつたら、脇盜をしたつて悔ゐないよ」

さう云つてゐる中森の顏を見詰めて、彼女はまた首を振つてゐた。中森は、飛行機が、圓の半ばを廻る間默つて、微笑を顏に取戻さうと努めてゐたが、

「それぢや百合子。君は、僕を好きだと云ふのかい？」

「…………」

「僕を、口說いたのかい？」

と、漸く、それは微かに、ほんとにかすかに、微笑を見せて斯ういつてゐたのです。

百合子は、いつか中森の胸に顏を埋めて、はげしく、啜り泣いてゐたのです。

中森は、彼女の肩を抱き寄せたまゝ、何か、離れものでもいたはるやうに優しく、

「それなら、さうとはつきり云つたらいゝぢやないか？私と結婚してくれとか、一緒になつてくれとか……あつさり云つたらいゝぢやないか」

と、怨むやうな調子で云つた。百合子は、漸く、泣き腫れた眼を見せて、かすかに、

「いゝの！」

と、答へてゐた。

「どうしていゝんだ」

「結婚しなくても、いゝの！」

「ぢや、好きだけれど、結婚はしたくない……つまり、しなくてもいゝと云ふのかい？」

「…………？」

彼女は、默つて頷くばかりだつたのです。そして再び中森の胸の中へ、顏を埋めるやうにしてゐた

正月のお賽錢 凡そ八百圓也

三日間で二ケ月分の勘定

面目を一新した新京神社では參詣者の數も從來に倍して來たが本年元旦から正月三日間のお賽錢を見ると總額八百圓でこれを一人當り平均五錢のお賽錢をあげたとして實に一萬八千名の參拜者があつたわけである、なほ去る十一月中の總額四百圓に比較して僅か三日間に二ケ月分を稼いだ勘定である

盜んだ金を布團に縫ひ込む

原籍河北省河間府生れ孫奇江（一九）は市内朝日通十七増田洋行に店員として傭はれ中一月三日午後一時三十分頃主人が客に釣錢を拂ひ財布をそのまゝにしてゐたのを奇貨とし現金百二十圓を窃取内四十圓を各方面の自已の支拂ひに費ひ八十圓を敷布團の中に縫込み何食はぬ顔でゐたところを八日新京署員に逮捕されたがこの他得意先の集金も相當使ひ込んでゐるものと見られ目下嚴重取調べをつゞけてゐる

買物に行く代りにどし〳〵來て買ふ樣にならなければ嘘です、材料を買つて自宅でごて〳〵煮焚をせられるより却て經濟に行くのですから追々利用して貰へる事になりませう私の方も澤山賣れば賣れる程「新らしく安く」をモットーに大衆の方の便利を計りたいと思つてゐます

郵便局窓口荒しの スリ犯人捕はる

初仕事を計畫中新京驛で

客年十一月以來新京中央郵便局窓口に於ける不敵の掏摸犯人につき新京署では血眼となり捜査中のところ七日新京驛待合室で遂に眞犯人を逮捕した原籍龍江省　縣本城生れ住所不定無職李鴻文（三〇）は客年十一月以來新京中央郵便局窓口の混雜にまぎれ前後七回に亙り約四百五十圓の窃盜を働き其の都度平康里其他城内の遊里にて費消し年が明けると再び仕事にかゝらんと新京驛待合室を徘徊中七日午後九時頃新京署員が擧動不審で本署に引致嚴重取調べの結果犯行の一切を自白したがなほこの他に驛待合室にても相當犯罪を犯せるものと見られ引續き取調べ中

危く凍死

市内中央通り四十番地自動車用品商ヤマト商會臨時傭員朝鮮人通稱西山潤二（二二）は八日午前十時半頃店からの歸途室町二丁目室町ビル裏で凍傷に罹り危く凍死しかけてゐたところ行人が發見派出所に急報滿鐵醫院で手當の結果漸く蘇生した

と東五馬路附近を徘徊中新京署員に逮捕され目下餘罪取調べ中

監督の目を盜み 鐵管を盜む

原籍山東省生れ新京驛前錢高組工事現場苦力孫金樹（二九）劉希松（二七）の兩名は現場監督の眼をぬすみ鐵管三十本時價百數十圓を窃取し七日午後五時頃城内方面に賣捌かんとする

軍需會社 恰も大戰景氣

【東京國通】不景氣だと云ふのに我が軍需工業諸會社はホクホクもので、六十割のボーナスやら矢鱈に月給が昇り恰も大戰景氣出現の兆を見せてゐる

お惣菜專門の 新らしい商賣生る

青陽ビルに出來たみづや

進み行く新京にこれは又新らしい便利な支店が生れた、祝町三丁目青陽ビル一階に食道樂青柳の直營でみづやといつてお惣菜專門の店が出來た、お酒の肴は申すに及ばず日々のおばんさいはにしんの煮たのから、おからのたいたのまで全部取揃へて陳列販賣をしてゐる而かも安値で味もよく何んでも速座に買つて間に合ふのだから至極便利で經濟である、人數の多い家庭や會社商店なぞは自分の方で御飯だけ焚けばお惣菜はみづやでとゆふ鹽梅で配達も迅速にやるといふから來客の時なぞ大變便利である

みづや主人の談

内地では東京大阪のデパートで惣菜部といつていますが此類似の營業をやつていますが專門に惣菜店としてやつたのは今回が始めてゞす、少々新京には早や過ぎるかの感もありますが本店青柳の關係もあつて大量出前の註文が相當ありますから商賣としてはまづ〳〵立つて行きそうですす私の考では市場に

滿鐵社員會 評議員改選

滿鐵社員會評議員の改選は本日午前九時から各分會毎に投票が開始され午後四時で締切つた、開票は午後四時から行はれ直ちに發表される（寫眞は投票場）

海軍館を 明春開館設立

【東京國通】海軍省では海國日本の姿を國民一般に認識せしめ、海軍軍事思想の普及及び海軍精神の涵養を目的として豫算四十五萬圓を以て財團法人海軍館の建設を計畫本年初頭建築に着手、明十二年春開館の運びとなつた、建設場所は明治神宮表參道東側で敷地は二千三百坪、コンクリート二階建で、内部は陳列室、圖書室、講堂等に分れてゐるが、陳列室は現代部と歷史部とに分れ、現代部に於ては艦船其他の模型等現代海軍に關するもの、歷史部は海軍史の沿革を語る記念品、參考品等を陳列する、尙總裁には海軍大臣、館長には海軍次官が任命される筈

久米少佐着任

新京憲兵隊本部副官久米憲兵少佐は八日午後二時馬場隊長以下の出迎を受け着任した

あすから東京大相撲（上 玉錦 下 武藏山）

洋裁講習會 十五日から

滿鐵家事講習所では來る一月十五日から洋裁婦人服短期講習會を開催、一般から會員を募集することになつたが第一期は向ふ三ケ月間、但し志望者は其後も繼續出來ることになつてゐるが、全然初歩の者でも歡迎すると、會費一ケ月一圓締切は同日まで

高女の書初め展

新京高等女學校では來る十三日午前九時から書初め作品の展覽會を催す

天才書家揮毫

七、八才の幼時から書畫をよくして天才兒と謳はれた朝鮮咸南北靑郡生れ金亨胤君（號靑坡白頭山人）は内地に七ケ年遊び、內鮮滿揮毫旅行の途上來京、寬城子二酉街に投宿し各方面歷訪廉價で揮毫してゐる

遺失

關東軍經理部工務科勤務古島達氏は七日午後七時三十分ごろ新京驛構內か新京、公主嶺間列車內で朝鮮銀行紙幣國幣とり混ぜ百三圓入り黄色封筒を遺失した

あす（十日）

△輸入組合大賣出し景品抽籤發表
△八島小學校開校一周年　午前九時記念式、同十時學藝會、午後一時スケート大會

今晩の主なる放送番組

▲七・〇〇義太夫さわりの夕べ（東京）▲七・三〇同大阪より▲八・〇〇浦鰻講談吉良の仁吉（第二席）（東京）神田ろ山

移民衞生調査委員會 昭和十年度總會

十日關東局階上で開催

昭和八年六月關東局が設立した移民衞生調査委員會は大使の諮問に應じて滿洲に於ける移民衞生問題に關し

重要

なる事項の調査審議を爲す機關として斯界の權威者を委員に委囑し移民に關する衣食住其他の諸衞生問題につき調査研究し、既にその研究の成果は各方面に於て實際的に應用されつゝあるが氣候風土其他の諸條件に合致すべきこの會の研究は單に奧地農業移民に限らず廣く全滿居住邦人全體の保健衞生上合理的生活の指導啓發に資せらるべきものとして識者の注目を惹いてゐる、現在の委員長は關東局警務部長東條英機少將であり、十日午前九時から關東局三階會議室で昭和十年度總會が開かれる總會の順序は

一、開會の挨拶　移民衞生調査委員長　關東局警務部長　東條英機
一、昭和十年度委員會事業報告　同會幹事　關東局警務部衞生課長　小坂隆雄
一、講演
　滿洲に於ける移民政策に就て　關東局警務部警備課長　陸軍中佐　鹽澤清宣
一、委員の研究報告
一、住居衞生に就て　移民衞生調査委員　滿洲醫大教授　三浦運一
二、食餌衞生に就て　同　安部淺吉
三、地方病に就て　同　稗田憲太郎
四、傳染病に就て　同　戸田忠雄
五、飲料水測定標準に就て　同　關東軍々醫部長　一等軍醫正　安藤順平
六、衣服衞生其他移民の諸衞生問題に就て　同　京都帝大教授　戸田正三

以上の外懇談會の主題は居住食餌、衣服、地方病、傳染病に關する事項、移民に關する一般衞生事項、昭和十年度に於ける委員會事業遂行に關する諸問題があり閉會の辭は副委員長關東軍々醫部長石黑大介氏が述べる事となつてゐる

因に

當日各方面の出席者は關東軍から石黑軍醫部長、安藤軍醫正島津軍醫正、稻垣經濟顧問、鈴木一等主計、大使館朝鮮課服部事務官、拓務省出張所香月技師、大角屬、滿洲醫大學長、三浦、安部、戸田、稗田の各教授、京都帝大戸田教授滿鐵村川防疫主任、新京地方事務所、滿鐵衞生研究所、東亞勸業酒本新京事務所長、移民地より綏稜拓務省第三移民地住川醫師、阿什河天理農村川崎醫師、橋本天理農村長　其他滿洲國警務司、衞生司、衞生技術廠、鐵路總局、領事館新聞社代表等である

制服の處女は 何れへ行く？

九十四名の新京高女卒業生

とあ六十日餘りで卒業が迫つた新京高等女學校の卒業見込み九十四名の制服の處女たちは卒業後何處へ行く上級學校か、家庭か、タイピスト・ショップガールなど職業戰線に立つかそれ〴〵胸を痛めて頻りとあせつてゐる、これら卒業生の希望は新學期始め調査によると大體左の如くである

▲總員九十四名▲上級學校入學希望者二十三名（醫學藥學各專門學校、女子大學その他）▲就職希望者十五名、▲家事手傳ひ四十六名▲未定六名、▲休學四名、の數字になつてゐる、これを昨年に比較すると卒業生の六十八名に對して上級學校希望者は十七名で本年が率は少ない、家庭に殘るものも少ない就職希望者が總數の二分三厘强增加してこゝにも時代を反映してゐる

佐藤第二課長 今夜大連へ

滿洲視察中の外務省東亞局第二課長佐藤信太郎氏は滯京中のところ、九日午後八時發で大連に向ふ豫定である

海軍大學生南下

海軍大學視察團第一班三十一名は大井少佐に引率されてけふ午後三時四十分着列車で引返し來京、同四時發奉天へ向け南下した

一月の防護デー

一月の防護デーは恒例の十二日を月末に延期し、その頃日本より到着する氣球見學をなすこととなつた

エヂプトに 反英運動再燃

英將校の泥醉暴行事件から

【カイロ七日發國通】埃及學生の反英運動は舊臘一九三〇年憲法復活決定と共に一時終熄の狀態であつたが、六日泥醉した一英國將校が街頭に於て埃及人に發砲重傷を負はせた事件發生した爲め俄然形勢逆轉惡化し群衆は七日大示威運動を敢行當局に迫るといふ事態を生じた、尙官憲の横暴にいきり立つた學生群の反英感情は益々深刻化し七日遂に英帝國主義打倒を叫んで反英ストライキを開始するに至つた

朝陽門事件 協議

【北平八日發國通】今井駐平武官は、九日午前天津に向ひ駐屯軍參謀部と朝陽門事件に關する協議を行ふこととなつた、目下右事件に關しては北平步兵部隊長よりの抗議提出に止まつて居るが明日の會議に於ては右事件の外大沽事件等一纏めにして問題とされ、その結果天津軍の名に於て宋哲元軍の侮日行動に關する全面的抗議並に具體的要求提出の段取りとならう

取引方針改善に 委員を派遣す

書籍雜誌商組合の決議

【大連國通】全滿讀者層の問題となつた書籍雜誌の定價販賣實施運動に對する滿洲書籍雜誌商組合の臨時總會は八日午後一時二十分より遼東ホテル五階會議室にて開催全滿組合員六十名、委員卅一名出席、山形組合長議長席につき過般の滿鐵社員會の決議文に對する割增金五分乃至一割撤廢の件に就き出席者から右は書籍業者の死活問題であるとの意見續出し約二時間に亘り大論戰の結果同四時に至り左の通り決議し上京委員五名以上を役員會に於て推薦する事となり、同四時半散會したが同組合の動向は時節柄注目されてゐる

決議文

當組合員は現在の取引制度には從來の方針を變更する事を得ざるも上京委員を派遣極力運動し可及的速かに取引及販賣制度の改善を期す
右決議す

湯檜曾の大雪崩

【東京國通】八日午後二時五十分上越線水上湯檜曾間第八鐵橋附近に百五十米に及ぶ雪崩襲來落下し鐵道路潰滅せる爲に上越線は全く不通となつた、水上保線區より工夫總動員で復舊工事に努めてゐるが工事は甚だ困難で開通の見込は未だ不明である、この雪崩で湯檜曾川河水を堰止め縣道にも氾濫し交通杜絕の危險に瀕した

京大生一行 空陸より大捜査

【チチハル國通】零下五十度の大興安嶺踏破の途中行方不明となり生否を氣遣はれてゐる京大生踏査隊一行の遭難捜査機は當地航空會社出張所所屬の旅客機と決定、九日午前　時松井支社長自ら操縱、葉山機關士同乘飛行場を離陸ハイラルに直航、笠井〇團司令部と打合せの上自動車隊と呼應、海拉爾、ハロンアルシャン一帶にわたり空陸より大捜査を決行の豫定である

荒井退造氏赴任

首都警察廳司法科長から哈爾濱警察廳司法科長に轉任の荒井退造氏は關係者多數に見送られ九日午前九時五分赴任した、なほ後任江口司法科長は十二日午後一時五十分着列車で夫人同伴着任の豫定である

右實行方法のため全滿商工會議所、市役所產業課、各新聞社、在滿書籍商、滿鐵社員有志の御聲援を願ふ

天氣と氣溫

明日の天氣　南西の風晴
日の出　午前七時　十三分
日の入　午後四時　二十分
月の出　午後六時　三分
月の入　午前七時　五十四分
けふの氣溫　最高零下十　度九　最低零下廿五度五

映画と演藝

パ社新年度陣 八大特作品公開

パラマウント社が一月中旬から陽春へかけて提供する特作陣が左の如く整へられた、いづれも期待に値する特作揃ひである

ノーマン・タウログ監督ラヂオ藝術家總出演「一九三六年の大放送」ヘンリイ・ハサウエイ監督、ゲーリー・クーパー、アン・ハーディング主演「永遠に愛せよ」フランク・ボザーギ監督、マレーネ・デイトリッヒ、ゲーリー・クーパー主演「眞珠の頸飾」キング・ヴイダー監督、マーガレット・サラヴアン主演「薔薇はあまりに紅かりき」マリオン・ゲーリング監督、グラディス・スワソート、ジョン・ボールス主演「牧場の乙女」レオ・マッケリーイ監督、ハロルド・ロイド主演、アドルフ・マンヂュウ助演「ロイドの牛乳屋」ジユームス・フラッド監督、シャルル・ボワイエ、ロレッタ・ヤング主演「上海」ルイス・マイルストン監督、メリイ・エリス、ツリオ・カルミナチ主演「巴里は夜もすがら」

日活三六年度スター

新進スターの養成に努めてゐる日活では本年度の銀幕に黒川彌太郎、原みち子、花柳小菊、石井美笑子等の異色あるスターを送り出し非常な好成績を擧げたのでこれ等のスターに新進を加へ三六年度スターとして左のメムバーを決定、大いに賣り出すことになつた

△時代劇　月澄江、安積京子、黒川彌太郎、村井永三郎、左門次一郎

△現代劇　大河修一、伊澤一郎、正邦乙彦、原節子、原みち子、高松美繪子、和歌浦小浪、白藤妙子、久原日出子、花柳小菊、美川かつみ、石井美笑子

松竹京都の新女優三人

松竹京都スタヂオでは今度左の三人の新女優を入社せしめ昭和十一年子年のスターとして賣出すことになつた

△成田光枝　本名山成光枝、大阪生れの當年十八歳、大阪の松竹少女歌劇から移つて來た麗人

△瀧谷博子　本名藤田久子、廣島生れの同じく十八歳、矢張り大阪松竹少女歌劇にゐた人

△八島ひで子　本名八木英子朝鮮京城生れ本年十三歳といふ變り種で林長二郎に見出され今迄長二郎の妹の様に撮影の時などいつも附添つてゐたのだが今度正式入社したもの

「海内無双」 長春座十日よりの新プロ

長春座十日よりの番組は左の如く松竹全プロ三本立の編成である

▽下加茂「ぎつちよの秋太郎」木村富士夫のオリヂナルものを星哲六が「野狐三次」に次いで監督した作品で、大内弘、光川京子が主演する、サウンド版、大前田英五郎の實子ぎつちよの秋太郎が山長兵衛と黒駒勝造との喧嘩を背景に意地と義理に生きる短くも華やかな生涯を描く、大内弘の威勢のいゝ所が見ものであらう

▽右太プロ「海内無双」サウンド版、梶原金八書卸しの一篇、瀧澤英輔が監督してゐる、主演者は右太衛門の他に佐久間妙子、このスタッフに期待がもてる

▽蒲田「彼女は嫌といひました」別項

野淵昶の大作「大尉の娘」に主題歌

新興東京野淵監督の新春大作全發聲「大尉の娘」の主題歌が出來た、作詞は藤田まさと作曲は阿部武雄、ポリドールレコードに東海林太郎、渡邊光子に依つて夫々吹込まれる歌詞は

△「哀しき父」

一、寄せては返しまた寄せる人のこゝろの淺瀨波、賴むのぞみもぷつつりと、きれて冷たい夜半の風(以下略)

△「大尉の娘」

一、笑ふは花よ泣くは月、花咲く春の短かくて、ふたりの秋のながきこと、諦めませうお父様(以下略)

PCLの天勝映畫 魔術の女王

PCLではかねて奇術の松旭齋天勝の半生記とも言ふべき劇映畫製作を企畫中であつたが愈々陽春「魔術の女王」と題して木村莊十二監督によつて製作することになつた、劇中ふんだんに天勝の奇術をとり入れ頗る大衆的なものにしようとあるが銀幕に初出演の天勝が如何に若返るか面白い處である

〝彼女は嫌といひました〟

蒲田サウンド版、島津保次郎が「果樹園の女」に次いで監督作品したもので、原案、潤色、脚色は蒲田監督部の若き助手連の手になるものと言はれる、保次郎好みと言はふか、特異な風格のかつた一篇で輕井澤の避暑地を背景にして僞男爵と僞伯爵令孃の化け合ひを中心に、お互に交渉持つ人達の淡い感傷を描いてみたもの、輕喜劇風な可笑味が迎へられやう、主演者は齊藤達雄、高杉早苗、桑野通子、小櫻葉子等、キヤメラは水谷至宏、長春座十日より上映

〝子〟歳〝樂人〟の素描

一九三六年の干支に因んだ子歳の樂人は先づ若い方で明治四十五年生れの廿五才組だがこれはソプラノの瀧田菊江孃一人あるのみ、孃は中央公論社の創立者故瀧田樗蔭氏の令孃で、上野出身の新人今は既に人妻である、次に卅三年生れの卅七才組では、少壯批評家で油の乘つてゐるさかりの鹽入龜輔氏がある、音樂世界の主筆で多くの女流アーチストの後援者として知られ、最近ゴルフや小型カメラに凝つてゐる、新響騷動の立役者小森宗太郎氏は打樂器では現樂壇の第一人者、少壯音樂學者で最近荻野綾子女史をして萬年ミスの誓ひを破らせて結婚した太田太郎氏、小松耕輔氏の令弟で作曲家の小松清氏、改組後の帝國高等音樂學院で主要な役割を承つてゐる、伊太利仕込のバリトン歌手平間文壽氏、此の外バリトンの滿山光三郎、金文輔、二村定一、セロの鈴木二三雄、ヴアイオリンの晋川仙三、作曲の鈴木靜一、淸瀨保二、明大オーケストラの指揮者尾原勝吉、ハーモニカの上原秋雄の諸氏がゐる、廿一年生れの四十九才組では安東男の令孃で女流聲樂界の先輩太田恒子女史、新日本音樂界に特異の存在を示す伶明會の町田嘉章氏、フランス派のテノール歌手照井榮三氏は改名家として知られてゐる、此の外上野出身のバリトン歌手淺香三郎氏がゐる

海外映畫短信三ツ

△アン・ハーディングは短期の休養を終つてRKO社に於て次回作「インディストラクティブル・ミシズ・タルボー」の製作に着手した、J・P・ウォルフスン作のオリヂナル物である

△シンクレア・ルイスの小説「イット・キャント・ハップン・ヒア」は愈々映畫化されるが脚本は紐育の名舞臺脚本家シドニー・ホワードが執筆する

△アン・ドヴオラークは「バックファイア」にロス・アレキサンダーと共演の筈であつたが病氣のため出演中止ベトリシア・エリスが彼女に代ることになつた

撮影所だより

△松竹京都のお正月物「雪之丞變化」のラストシーン雪之丞の仇討場面には衣笠監督の脚色によつて舞臺における赤穂浪士本快の場面出によつて劇的効果をあげることになり下加茂スター總出動、エキストラ二百名出演で豪華撮影を行つた

△千惠プロが映畫化準備中の土師清二原作「江戸城炎上」は都合で一時延期となり次回作は原顯義監督自身シナリオによる物を決定した

△千惠プロ「初祝鼠小僧」のファーストシーンには京都混聲合唱團、京大合唱團員五十餘名が同映畫の主題歌をコーラスで歌つてゐる

△第一回鮮語トーキー「春香傳」を發表した朝鮮京城撮影所では第二回鮮語トーキー「アリラン」を洪吐無、李明雨カメラ中川堯史錄音、文藝峰、盧載信主演で撮影、これは例の流行歌「アリラン」をとり入れた大衆的作品である

△日活では「大菩薩峠」第二篇を矢繼早に製作準備に着手、脚本執筆のため稻垣、三村兩氏は中里介山居士と緊密なる連絡下にシナリオ完成をいそぎつゝある

△右太プロ「蛇の目定九郎」出演中の蒲田若水絹子は同映畫で得意の小唄を歌つて聞かせるが之はタイヘイ・レコードにも吹込み發賣される

△日活荒井監督「江戸の春、遠山櫻」を結髮お辰に扮する水の江澄子は、從來の妖婦役からがらつと味の變つた三枚目役を演じることとなり飯田蝶子張りの新演技に苦心を重ねてゐる

雜音

演藝館が十五日頃に開館するといふ、内容を詳かにしないが寄席のやうなものであるといふ、藝界の余惠に乏しいこの土地のファンにとつて喜ばしい出現である▼願はくば常に安く豐富なプログラムを盛つて貰ひたいことで、名もなき漫才等に一圓も一圓五十錢もとられることは決して本意な話ではない▼所謂「間奏樂」といふ奴で、映畫と映畫の合間にレコードを鳴らして場を繼ぐといつた行方が各館共に行はれてゐるやうであるが、あれは一切やめて了ふか、やるとしたらもつと靜かなものを鳴らして貰ふ譯にはゆかぬものか、休む暇もないといつたやたらに忙しい感じを受けるばかり▼もやくと煙草の煙がこもるのも嫌だ、お客の德義心に俟つといふ以外に、設備の方にも何んとか手のほどこしやうがないものであらうか

今日の演藝街

▽長春座―九日限り、齋藤達雄、田中絹代の「人生のお荷物」高田浩吉、堀江淸子の「木曾の紅笠」ポール・イニの「國境の町」

▽新京キネマ―十日まで、大河内傳次郎、入江たか子の「大菩薩峠」瀧口新太郎、花柳小菊の「戀女房」

▽帝都キネマ―十日まで、ウイリアム・ポーエル、マーナ・ロイの「惡夢」高田稔、山路ふみ子、伏見信子の「三つの愛」嵐寛壽郎の「文武太平記」

▽豐樂劇場―十日まで、ジャン・ピエル・オーモンの「乙女の潮」伊藤薫、藤原釜足、高尾光子の「いたづら小僧」

▽公會堂―十日まで、大津お萬漫才一行

轉居

▲池尾八郎氏　錦町から桔梗町二丁目十番地へ

出生

▲前原常吉氏(入船町二丁目十五番地ノ二)男耕一さん一日出生

▲生駒重一氏(老松町二丁目五番地)女悦子さん二日出生

▲羽賀多氏(常盤町三丁目十三番地ノ四)長男寛さん二日出生

▲内山平治氏(露月町二丁目三十七番地)次男孝治さん一日出生

▲前野義氏(白菊町三丁目十三號ノ一)四女琳枝さん二十三日出生

▲興常義氏(朝日通り三丁目九番地ノ二)三女二美さん一日出生

死亡

▲飯村謙三郎氏(東四條通り八番地)女憲子さん四日午後四時死亡

一月十日　十二月十六日

金曜　辛卯　先負　滿　亢宿

●一白の人　外事に携はれば幸勢を增す内に在るが安全　甲と庚と辛が吉

●二黑の人　隔意なく衆人と交れば平安なり普請造作凶　卯と丁と壬が吉

●三碧の人　耐忍すれば大事も成る開店企業吉金談は凶　丁と庚と辛が吉

●四綠の人　順序を違へず誠實に進めば志望通達すべし　乙と庚と辛が吉

●五黄の人　目に見れども手には取りがたき殘念なる日　甲と卯と癸が吉

●六白の人　丹精の甲斐ありて芽を出だすに至る良好日　甲と乙と丁が吉

●七赤の人　希望ありとも妄りに進む可らず熟慮を要す　乙と丁と癸が吉

●八白の人　從來の業務も衰微を來たさんとする兆あり　甲と乙と丁が吉

●九紫の人　思ひ掛けざる援を蒙る事あり定業に親しめ　乙と庚と辛が吉

大正九年十二月十四日　第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓　郵税　一ヶ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話｛編輯部專用三一二五　營業部專用三三〇〇

發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

倫敦會議愈よ決裂か

通告案討議參加を拒否　回訓次第で脱退斷行

＝我軍縮代表決意固し＝

【ロンドン九日發國通】英國政府は海軍縮小本會議の破局を前に帝國全權團に會見を申込み起死回生策を講ずる作戰に出たが結局私的會談には何等の成果を期待出來ず英代表も帝國全權説得を斷念、十日午後の第一委員會までに英佛伊三國代表の建艦通告案に就き調和點の發見を圖り愈よ通告案を纏め上げた後帝國政府の參加を要請する段取りと觀られる、隨つて第一委員會では暫く通告案が討議され並行的に量的制限案も審議されるものと觀られるが、帝國全權團としては共通最大限案が容認されぬ限り正式に通告案に關する討議參加を拒否來週に入り**訓令通り任務を遂行するを得ず軍縮の大目的を達成出來なかつたが最早會議に出るも無意義と解される**旨本國政府に請訓、回訓次第で愈々會議脱退を斷行する事とならう

以て事實上の決裂となることは全く必至の情勢となつたが我海軍では全權團の最後的努力に期待し大要左の如き見解を下してゐる

一、各國の軍縮提案は米國の二割天引案を除く外悉く討議を終へた、米國案は未だ一回も討議されてはゐないが會議の經過に見るも最早討議の必要はない

一、隨つて英佛伊三國の建艦通告案を最後として討議題目はなくなる譯であるが、此間に處して英國が如何なる態度に出るか注目すべきものがある

一、即ち今日までの經過によつて各國の態度は既に明白で會議の成果は到底望み得ない實情に直面してゐるので、此機會に會議の進行を打切るか或は質的問題の討議を進め交渉を爲すか、何れにしても茲一兩日中に決する事にならうと思はれる

一、我方としては會議が今後如何なる方向に進むとも我根本主張の貫徹に努力することが世界平和に貢獻する唯一の途と固く信じ望んでゐる以上從來の態度を變へる事はなく我全權も會議の最後まで努力に努力を續けるものと觀てゐる

"斷乎所信を一貫し勇往邁進の決意"

＝永野全權所信を語る＝

【ロンドン八日發國通】八日の軍縮第一委員會後宿舍へ歸つた永野全權は直ちに永井全權以下首腦部と今後の方針を打合せた後何時に無い緊張を顔面に漂はして左の如く語つた

吾々は共通最大限主張が先決なるを開會この方口を酢つぱくして説明し量的軍縮先議を要求し列國もそれを諒として量の討議に入つたのである、然るにその經過はどうかと云ふにまるで子供が算術の問題を與へられたと同樣に第一の問題が出來ぬと云ふて二番目の問題に手をつけ又出來ぬとて三番目に移ると云ふ樣な滅茶苦茶な行方をし軍縮諸問題の前後の關係を全然度外視し徒らに時間を費して居る有樣だ、英、佛、伊が軍縮案を出すと云ふので愼んで拜見しやうと待つて居たが何んの事ぞや短期の建艦通告案ではないか、我等は餘りの意外に驚いた、今日の會議ではその驚きぶりを告白し卒直に本氣で軍縮をやらうでないかと直言して來た我等としては一番大切な量の問題が纏まらぬ裡は枝葉末節論の討議に入る事は斷然斷る外はない、此の點は國民諸君に於ては既に御承知と思ふ、尚代表部は次の十日の會議に於ては招請國たる英國がどう出るか知れないが會議は兎角水かけ論で、邪道を辿つて重大難關に逢着した事は疑ひない吾々は世間の思惑及び一時の個々の批評に拘泥せず正を踏んで恐れず斷乎所信を一貫するのみで擧國一致の誠意の前に勇往邁進する決意はある

續行か否か　一兩日中に決定

【東京國通】軍縮會議は英佛伊三國の建艦通告案の討議を

英政府から私的會談申込む

全權團口説き落しに大童

【ロンドン八日發國通】建艦通告案を繞り第一委員會の重大局面に逢着した結果英國政府當局は協議の結果先づ帝國全權團との私的會談に依り局面の打開を圖るに決定、八日午後七時帝國全權團に對し私的會談を申込んで來た、帝國全權團は直ちに應諾、會談は九日午後四時半から英國外務省で擧行される事になつたが帝國全權團からは永野、永井兩全權の外特に岩下首席委員參加し、英國政府からはモンセル海相、チャットフィールド軍令部長、クレーギー參事官外に特にイーデン外相も一枚加はり帝國全權團を口説き落しに懸命の努力を拂ふ段取りと解される、但し帝國全權團は既定方針を堅持、量的制限案以外建艦通告案の討議には一切應じ得ない方針だから私的會談に依り別に目覺ましい展開はされないが兎も角第一委員會今後の日程は右私的會談で決定されやう

全滿鐵道機構統制方針本年中に決定

＝松岡總裁語る＝

【大連國通】松岡總裁は九日記者との會見に於て鐵道機構の改革問題及び之に伴ふ諸問題を闡明し且つ今後大阪財界と密接に接觸すべき事を左の如く言明した

全滿鐵道機構の統制に就ては副總裁に立案を依頼し總務部にも命じてをいたから双方共近く出來上るので兩方の長所を採つて折衷案をこしらへ重役會議にかけ本年度中に方針を決定し度いと思ふ、勿論此機構改革は鐵道に限らず會社全般に亘り斷行するのだが同時に總局、滿鐵間の給與の改善統一並に人事の調整を行ふ心算だ、東京支社長を更迭したのは別に深い意味はないが自分は平常社員支社長がよいと考へてゐた所實現した迄で大淵理事は依然駐在理事として内地に留まつて貰ひ今後は東京のみならず常に大阪と東京を往復して特に大阪財界と接觸して貰ふ事にした、滿洲國の新線建設資金の利息利下げは現在の七分五厘を六分にする樣に宇佐美理事が東京で説明する筈だつた

"中央各方面との諒解全く成る"

司法部菅原科長昨夕歸京

【大連國通】治外法權撤廢問題に關し對滿事務局並に關係各省と重要打合せのため去る十月東上した滿洲國司法部民事司第一科長菅原蓬郎氏は九日午後五時半着のあじあで歸京したが途中左の如く語つた

客年十月對滿事務局で行はれた治外法權撤廢問題に關する打合會に滿洲國側から武部司政部長、古谷總務司長、その他滿洲國代表者日本側からは鹽澤中佐他關係各省代表者出席、種々協議の結果從來の方針通り相互に大體諒解を得たので來る七月一日から實施を見る運びとなつた、これに對し一部樞密院側から反對意見があつたやうに傳へられてゐるがこれも現地代表者との膝を交へての折衝の結果充分諒解を得たことを喜ばしく思つてゐる

山成中銀副總裁　今朝東上

山成中銀副總裁は高木管理課長、金田秘書帶同十日朝新京驛發、約一ヶ月の豫定で東京へ向ふこととなつた、用件は曩に實施の運びとなつた日滿通貨統制に際しての日本朝野の好意に對する謝意を表するためである

佛の對伊軍備

廿日海軍大演習を擧行す

【パリ八日發國通】佛國政府は英國政府との間に聯盟規約第十六條三項に基く軍事的相互援助の義務を確認した結果萬一の場合に備へ陸、海、空三軍に亘り着々軍備を進めてゐると解される

既にガムラン參謀總長は佛、伊兩國の國境線一帶を視察、要塞並に國軍の檢閲を了したが一方海軍省當局は廿日地中海上に海軍の精鋭を集結、大演習を擧行するに決定した

河川取締規則　施行さる

滿洲國は毎年河水氾濫の爲幾多の損害を蒙るので之を除去する爲民政部令を以て河川取締規則を定め、流水を阻止する行爲、堤防を破壞する行爲等を嚴禁すると共に土石、砂礫の採取及び河川の敷地流水の方向等に影響を及ぼす行爲に就き省長の許可を必要とすることとした

尚本令は本月十日附を以て施行される

大達總務廳次長　昨夕歸任

年末年始の休暇を利用して老母見舞に東京に歸つてゐた大達滿洲國總務廳次長は九日午後五時半着「あじあ」で歸任した

滿ソ國境調査に外交部乘出す

五月實地調査隊出發

滿ソ關係調整の前提たるべき兩國々境の確定につき滿洲國外交部當局では國境線の根本的調査を行ふことになり

一、國境線設定に關する文獻

二、ソ支間に締結されたネルチンスク條約以下の諸條約等に基く國境線問題の根本資料

の蒐集に努めてゐたが此の程完成の域に達したので右蒐集資料に基き本年五月國境實地調査隊を組織し滿洲國獨自の立場から先づ南部國境を約六ヶ月に亘り實地調査することになつた、即ち滿ソ間の國境線は東部及び北部はウスリー江、黒龍江、アルグン河の三大河川により約三千キロに亘り略々明確に區劃されてゐるが一八八七年締結された琿春條約以來そのまゝ過去五十年にわたつて放棄された密山、綏芬河、東寧、琿春を繋ぐ五百キロに亘る東南部國境は既に國境標識等も荒廢して明瞭を缺いてゐるので先づ本年度に於て同方面の實地調査をなし地理上の區劃を明確にし更に引續いて一九七二年締結を見たアバガイトブヘト條約等に基き確立された滿洲里方面の國境線約百キロもロシアの東方政策により侵略されてゐるので右方面の國境線確立はソ聯側に嚴重抗議の上國境線測量を斷行する筈であり、滿洲國領土保全の毅然たる態度を示すと共に國境線に低迷する暗雲を除去することになつた

外蒙側の飛行機

滿洲國監視哨上空を偵察

甘珠兒警察よりの公報に依れば七日外蒙側飛行機がハルハイト（グドロン河國境附近）に現はれ約二時間に亘り滿洲國監視哨の上空を偵察して飛び去つたが之に對して滿洲國側は嚴重抗議に出るものとみられてゐる

興中公司初重役會

八日丸の内事務所で開催

【東京國通】對滿支經濟開發機關として新設された興中公司では八日午後三時丸之内事務所に於て初重役會を開催十河社長、平山、内田、内海、奥村の各取締役の外島田、公森、三宅川、村田、川田の各相談役全部出席先づ十河社長より同社設立の經過報告あり同席に招聘した陸軍省滿蒙班長影佐中佐より現下の支那政治經濟の状況につき詳細なる説明を受け種々懇談を重ね同五時半散會した、而して當日はたゞ初顔合せの程度で終り同社今後の活動に關する具體的計畫等については格別觸れる事なく次回に持越される事となつたが十河社長は要務濟み次第滿支方面に出發その使命遂行に邁進する筈である

蒙古旅行概話（三）

濟勝が此の大部隊の降を容れた後、明帝國は伊屯河衛の支配内となしたが、もと此の地方一帶は漢民族の地ではなく昔時から西北民族の地内であり殊に元朝以來蒙古民族の割據するところとなつてゐた。明朝の末路ころから、郭爾羅斯（コルロス）蒙古の占有する地域となつて、清朝時代となつても彼らの獨占區域であつた、農安は概説して上記の歴史をもつてゐるが日露戰役當時日本軍に由り寛城子を占領せらるや、露軍は退却して農安の東北方松花江の左岸に沿ふて、一の防禦陣地を張りそこに砲臺を設けた跡が今尚存在してゐる即ち青山渡口と呼ぶところがそれである、これは新しい史蹟であるが史蹟として記すべき價値があるとおもはれる、

×

農安地方は郭爾羅斯蒙古の旗地であるが、蒙古がこの地方に根據を有したる概括的な歴史は前述の如くである、こゝで郭爾羅斯と云ふ名稱に付て一言解説するの必要がある、現在の郭爾羅斯蒙古がこの名稱を用ひたる歴史は遠く成吉斯汗時代からの由緒ある名稱で、大體に於て蒙古族は外蒙古に根據を有し又彼の先住地でもあつた、この地方が契丹に代つて女眞族が旗を建てたるところであつて、成吉斯汗が稍々驥足を延したる時に當つて農安から扶餘以北の地方一帶に納淋汗と云ふ一つの酋長があつて廿萬の郭爾羅斯兵を率ゐてゐた。成吉斯汗は東方を開拓するに當り彼等は邪魔者であるから之を打拂はんがために弟の哈薩爾（ハザル）に部兵を引卒せしめてこの郭爾羅斯を打破つた、そして此の地方を自分の領内に入れたのである、明末に至り哈薩爾の後裔が此の地方に蟠居し祖先の上記せし歴史から郭爾羅斯の名を用ひ、それを部名とし郭爾羅斯旗と名附たのであつた、郭爾羅斯と云ふ旗名は斯る由緒ある縁故をもち彼等の名譽を表稱したるものである、

農安一帶は郭爾羅斯の旗地であつて無限の耕地を有してゐる、隅から隅まで耕地となつてゐるが之等は皆蒙古人の手に依つて耕作されたるには非ずして、始め山東附近から移住し來りたる漢人の手に依り漸進的に耕作された、大體に於て蒙古人は耕作せず所謂遊牧の民であるが、はやくから此の地方に流入したる漢人等は何となく耕作をなしてゐたものである（寫眞上は旅行姿の筆者と下コルロス旗公署前の旗長代理）

人事往來

▲赤塚吉次郎氏（新京商業學校長）九日午後大連へ
▲荒井退藏氏（ハルビン警察廳司法科長）同ハルビンへ
▲染谷保藏氏（盛京時報社長本社代表者）九日午後來京ヤマトホテル

航空往來

▲高橋三郎氏（朝鮮總督府）九日午前ハルビンへ
▲阿部中佐　同
▲清水大佐　同
▲神田宗好氏　同ハルビンより
▲井上秋房氏　同
▲草場大佐　同午後奉天より
▲村上照隆氏　同ハルビンより
▲渡邊少佐　同
▲藤原保明氏（交通部郵務司長）同京城より

偶語

滿鐵附屬地の行政權移讓もいよいよ明年中に完行される事となり、滿鐵側では重役會議でその移讓方針を確立した▼その内容として傳へられるところによると、附屬地市街施設の大部分は移讓されることゝし、たゞ水道の如き鐵道給水の關係あるものは保留となつてゐるが、これとても新京の如き滿洲國側で既に施設を行つてゐるところでは當然一元化される▼教育施設では公學校の如き滿人教育は移讓するも、邦人教育は然らず滿鐵、外務省、居留民會の三者を以て財團法人教育組合を組織し之が經營に當らうといふ▼また病院は特殊なる傳染病院、婦人病棟を除いて他は鐵道病院として殘してよいとの事だが、之を要するに一般の想像するところと大差ない▼殊に日本人教育は依然日本の手によつてなされることは、滿人教育が滿洲國によつてなされると同樣に、當然過ぎるほど當然のことであらうといふものだが▼たゞこれら行政權の移讓に際して、當然縮小されるはずの滿鐵地方部の人事がどう取扱はれるかは關係社員にはもちろん吾々に取つても大きな關心事である

社説

最近多い郵便の誤配 なんとかならぬか

郵便物の誤配又は不配は平素とても決して稀らしくはないが、殊に年末から年始へかけて年賀狀その他の郵便物激增の結果最近は殊に甚だしいやうである、その原因は一體どこにあるか、吾々はいまその責任を追求するものではないが、かうしたことによつて受ける吾々の犧牲は吾々自身が想像する以上に大きなものとなつて現はれる場合が尠くないのである

□

昨年末のことであつたが内地から送つたといふ商品がいつになつても着かない、此方は一刻も急ぐ品物である、そのうちシビレを切らして打ちやつた氣持でゐると、十日ばかりも過ぎた頃になぜ受取りに來ないかといふ第二回目らしい通知に初めて接した、調べて見ると第一回の通知狀が發せられたが不配に終つたものらしかつた、期間に間に合はなかつた上に尠からぬ留置料は取られる、それに發送先と電報を幾度か交換するなど尠からぬ迷惑を蒙つたものだがそれでも品物が手に入つたゞけが幸ひとでもいはう、當局者にいはすと果して不配だつたものかどうかは今一應吟味して見なければならぬといふ口實がある、そこで此方はそのまゝ泣寢入りといふわけだつたが、こゝにそれを再書する事實を同じ筆者が最近又も經驗したのである

□

その事實といふのは受取人とはてんで想像にもつかない宛名の葉書がひよつこり舞ひ込んだものだ、いふまでもなく誤配である、その葉書といふのは新京驛貨物取扱所から發せられた貨物到着の通知狀で消印は一部消えてゐるが滿洲國郵便だから頭道局あたりで取扱つたものに違ひなからう通知の日附を見ると驚くべし昨年の十一月六日といふから隨分古いものだが、これが筆者の家に配達されたのが本年一月七日で、消印は立派に前日の六日とあるこの間實に二ケ月間も迷ひ子になつた勘定で、その揚句が宛名先ならぬ途方もないところに誤達されたのである

□

この二つの事實によつて郵便の不配又は誤配の類は大抵こんなものだらうかと、あきれ返つたのであるがなんにしても不可解な話である、遲れたは遲れたとしてよいとしてもその上に誤配は余りに念に念が入りすぎてゐる、かうしたことが日々到るところに繰返されてゐるとすれば實に由々しい社會問題で、わが威信ある郵政のためにも眞に遺憾に堪えない、敢て當局者の注意を喚起する次第である

滿洲國總人口 三千二百餘萬人
＝康德元年度末の調査＝

過日滿洲國政府が執行せる廿五都市の人口調査の結果は三月末頃發表される筈であるが

之に

先立ち統計處は各機關に於て調査せる資料を基礎として康德元年度末現在の滿洲國戸口數を左の如く發表した

△總數

總戸數	五、四七四、三二一戸
總人口數	三二、八六九、〇四人
内譯 男	一八、〇七六、六九四人
内譯 女	一四、七九二、六六〇人

△國籍別人口數

滿人	三二、〇五二、二一九人
日本内地人	一六六、四二九
朝鮮人	六六二、八六一
外國人	七七、五四五

△省別人口數

吉林省	四、七九七、四七七人
龍江省	二、一七五、〇八四
三江省	九一二、三八二
黒河省	五二、七三六
濱江省	四、二一九、九五七
間島省	五九九、六八三
安東省	二、七〇三、六四二
奉天省	九、五一〇、三二一
錦州省	三、三七七、〇九九
熱河省	二、六二一、一五七
新京特別市	一四五、九四二
ハルビン特別市	四六五、四六五
北滿特別區	二一八、七七九
興安西省	四〇三、一一八
興安南省	五八九、三五五
興安東省	九七、〇四一
興安北省	四五、〇六六

以上を前年度（大同二年）に比較すると總戸數二八八、三五四戸增加、總人口一、九八九、三三七人の增加となつて居り之は歸國者及び新入國者の增加せるものとみられ、同國の治安恢復を如實に物語つてゐる、尚ほ外國人では依然日本人の急激な增加が目立ち各省別に於ては各省一樣に

增加

の傾向を辿つてゐるが就中交通機關の新設された地方が顯著な增加を示してゐるのは注目に價するものがある

新に滿洲國で制定の賄料支給規則

滿洲國政府では勅令賄料支給に關する件の制定に伴ひ之が施行に關し十二月二十八日院令を以て賄料支給規則を左の通り制定した

賄料支給規則

第一條　日直又は宿直勤務を爲したる者には左の區分に依り賄料を支給す
一　俸給、給料月百二十圓以上の委任官、委任官待遇者、雇員及手當月額百二十圓以上三百圓以下の囑託員　一日又は一夜に付　三角五分
二　俸給、給料月五十圓以上の委任官、委任官待遇者、雇員、手當月額五十圓以上の囑託員及日給二圓以上の傭人　一日又は一夜に付　二角五分
三　俸給、給料月五十圓未滿の委任官、委任官待遇者、雇員、手當月額五十圓未滿の囑託員及日給二圓未滿の傭人　一日又は一夜に付　一角五分

第二條　退廳時間後引續き居殘り又は徹夜勤務を命ぜられ午後七時を經過するときは左の區分に依り賄料を支給す
一　俸給、給料月百二十圓以上の委任官、委任官待遇者、雇員及手當月額百二十圓以上三百圓未滿の囑託員　一夜に付　四角
二　俸給、給料月五十圓以上の委任官、委任官待遇者、雇員、手當月額五十圓以上の囑託員及日給二圓以上の傭人　一夜に付　三角
三　俸給、給料月五十圓未滿の委任官、委任官待遇者、雇員、手當月額五十圓未滿の囑託員及日給二圓未滿の傭人　一夜に付　二角

第三條　宿直又は徹夜勤務を常務とする者には左の區分に依り賄料を支給す
一　俸給、給料月百二十圓以上の委任官、委任官待遇者、雇員及手當月額百二十圓以上三百圓以下の囑託員　一夜に付　三角
二　俸給、給料月五十圓以上の委任官、委任官待遇者、雇員、手當月額五十圓以上の囑託員及日給二圓以上の傭人　一夜に付　二角
三　俸給、給料月五十圓未滿で委任官、委任官待遇者、雇員、手當月額五十圓未滿の囑託員及日給二圓未滿の傭人　一夜に付　一角二分

第四條　廢休勤務を命ぜられ其の勤務時間以上に及ぶときは第一條の額に依る賄料を支給す引續き勤務し午後七時を經過するときは第二條の額に依る賄料を併給す

第五條　日直又は宿直中の者病氣其の他の事故に因り他の者と交替したるときは其の賄料は後の日直者又は宿直者に之を支給す

第六條　所屬長官は賄料の定額を減し又は之を支給せざることを得

第七條　執務時間外勤務手當の支給を受くる者には賄料は之を支給せず

第八條　賄料は其の月分を翌月十日迄に之を支給す

第九條　特別の事情に依り本規則に依り難きものに付ては別に之を定む

附則

本令は康德三年一月一日より之を施行す

暫行日直宿直徹夜及居殘勤務手當支給規則は之を廢止す

海外ニュース

太平洋横斷飛行に大成功のクライド・パングボーン君は目下世界一周ノン、ストップ飛行を計畫中だが寫眞はそのために製作された機體で特殊な形態を持ち十四人の搭乗員を搭載積荷は翼の内部に收容する同君はこの飛行中四五回空中給油を受けるのだそうです

日蝕觀測に支那より天文學者來朝

【東京國通】今年の日本天文界は日蝕觀測で相當多事であるが支那から珍らしく婦人天文學者が來朝する事となつたそれは南京の國立中山大學天文技師鄒儀新夫人で此三月東京府下三鷹村の東京天文臺に研究員として正式入所するに決定した、同夫人は今日迄天文技師として立派な論文も學界に發表して居るが支那に十分な天體觀測の設備がないので豫てから日本へ留學を希望し外務文部兩省の斡旋で今回やつと希望がかなつたのである

丁香廬漫筆（四三）

◎同文の悲哀（二）

明治以後の日本文化は完全に歐米依存であり、今時の若い連中は初めから歐米直輸入のやふに考へてるかも知れぬが實は此れとても最初は支那人の手を通して這入つたので此の點でも支那が先進國の位置を占めてゐる。（其後落伍はして居るけれど）

×

耶蘇は日本ではヤソでキリストのことであるが凡そキリストに關する世界中の如何なる文獻を搜してもキリストにヤソと云ふ名前は無い筈である此は矢張支那から這入つたので支那音で讀んで始めてイエスとなるのである、こんな由來は日本で極めて熱心なる基督信者でも大方は御存知ないであらう基督も日本讀ではキトクだが支那音でキリストになる、此外保羅はまだしもとして約翰は如何にしてもヨハネとは讀めぬ、又地名にしても倫敦巴里はマア無難だが華盛頓は如何にしてもワシントンとは讀めぬ筈だ約翰も華盛頓も支那音でのヨハネ、ワシントンである、一體日本語の聖書は支那譯の轉譯で人名地名熟字語句など支那語其儘である、（今日の北京音とは完全に合致しない點もあるが）支那語研究の好參考として聖書を讀むのも面白からう

×

代數學の代數はあれで意味を成すが幾何學の幾何は何故に幾何であるかは了解に若しむであらう、其れもその筈あれはヂオメトリーの支那音譯から來てる、幾何は支那音のヂオで幾何學は即ち「ヂオ學」なのだ、幾何學と共にケミストリー（或シエミストリー）を矢張支那音で舍密學と譯したのであるが日本では大方佛臭いとでも思つたのか何時の間にか化學（ケミストの學）に化けて了ふた、一般に力學と呼慣はして來たが正しくはケ學と呼ぶべきであらう幾何の方は幾何の字に數學的な意味があるので其儘御採用今日に至れるものと知るべし此れで大概明治初期の歐米文化も支那人の手を通じて日本に再輸出されたること間違無く、何とも歷然たる證據で致方あるまい。

×

元來日本人は支那人に對して同文同種などとても親しい親類のやふな口の利き方をするが日本語と支那語程縁遠いものはない、早い話が蔣介石の面前で日本人がショーカイセキカクカ（蔣介石閣下）など相當敬意を拂つた積りでも御本人には何のことやら諡張解るまい（日本語にでも通じて居らねば）恰かも長岡隆一郎氏の前で支那人がチャンカンロンイーランコーシャ（長岡隆一郎閣下）などと申上げても一體何を云ふて居るのか解からぬのと同樣であらう。處が不同文の英米人かミスター、チャンカイシエック、とかミスター、スンツーウエンとか呼びかけたら蔣介石も宋子文も少くとも自分を指してる位には考へて笑ひながら握手でもしようと云ふものだ

×

歐米人は支那の人名地名を原音のまゝ移すが日本は日本丈にしか通じない音で行くからこう云ふことになる。文字に書くと最大の敬意を拂ふた積りの言葉が實は極端なる侮辱となるのだから是亦遣り切れない、同文の悲哀とでも云ふか其れでも支那に來てる歐米人から見ると買辦無しで支那人と直接折衝を行ひドシドシ商賈をやつて行く同文の日本人が羨ましくもあり恐くもあるらしひ、矢張一種のアドヴアンテージである、ブロークンの支那語で行かねば策讒、其れでも行かねばカンで行くと云ふ遣方だが今後は此のアドヴアンテージを益々擴大强化すべきである。

×

漢字の外國地名でも全部が支那からの讓受ばかりでも無い例へば浦鹽は日本の創作で支那では海參威と呼ぶ音譯西亞に割讓する以前支那人の大好物なる海參の産地であつたからである支那國民黨など獻にハイカラがつて何々國恥紀念日などとヤヽコシイ紀念日を造るよりも海參喰ふ度に思出す海參威の方が國恥紀念的名稱として百パーセントの效果が有らう、此さへも忘れ勝とするなら國恥などとは洒落臭い言はぬが勝しだ。

×

サンフランシスコの桑港も支那音サン港で支那傳來の疑充分あるが支那では使はぬ舊金山と云ふ此れはその昔カリホルニヤのゴールドラッシュがアラスカに移つた頃の歷史的名稱とも云へる、恐らく古い亞米利加の支那移民から誰謂ふとなく傳はつて言慣はしたものであらう。ハワイの布哇は和名で支那では檀香山（或夏威夷）香料の産地として聞えて居つたからである、南洋ペナンを檳 嶼と稱するのと盡し好一對であらう。牛津は意譯、劍橋は半音半意の譯傑作とも申上げ兼ねるが日本人としてはマアー上出來の方であらう、支那でも拜借して使ふやうになつた。

商況欄（一月九日後場）

金銀市況

●上海標金

前引	一二四、七〇
寄付	一二四、七〇
歩	—

●大連金鈔票

寄付	九九、七五
引	九九、八〇
高	九九、九〇
安	九九、七五
出來高	三〇万

▲一月十三日限　一月二十七日限

	一月十三日限	一月二十七日限
寄付	九九、九五	出
歩	九九、九〇	
	九九、八七五	
	九九、九〇	
	九九、二五	
引	九九、八五	不
高	九九、九五	
安	九九、八五	來
出來高	四〇万	中

●大連鈔票銀大洋 寄付 一〇〇、〇〇

爲替相場

▲上海爲替

▲日本向 第一回	賣 一〇三、三七五	買 一〇三、八七五
第二回	賣 —	買 —
▲倫敦向 第一回	賣 志二片一二分一	買 一六分九
第二回	賣 —	買 —
▲紐育向 第一回	賣 二九弗一六分三	買 八分七
第二回	賣 —	買 —

大連爲替

▲上海向	一〇四、〇〇
	出來高五萬
▲煙台向	一〇四、一〇
	四、一五

株式相場

▲大連株式（短期）

品	寄	引
五品	一八、五〇	一八、二〇
豆新	一八、八〇	二〇、八〇
鈔新	一五、一〇	一四、二〇
錢新	一六三、〇〇	—
東新	一六五、一〇	一五九、三〇
鐘新	五八、二〇	—
滿鐵	—	—
二新	七四、四〇	七四、四〇
日産	[illegible]	[illegible]

▲奉天株式（短期）

品	寄	引
滿取	一六、八〇	一六、八〇
東新	一五五、四〇	一六四、七〇
鐘新	一五九、五〇	一五九、〇〇
日産	七四、六〇	七四、四〇
大新	九五、〇〇	九四、五〇
五品	一八、三〇	—
豆甲	二一、一〇	—
電乙	一七、一〇	—
同鐵	一四、三〇	一四、七〇
滿拓	五八、四〇	五八、四〇
東亞	一五、〇〇	—
日魯	一〇、一〇	—
滿興	六〇、〇〇	五九、三〇
滿毛	三三、〇〇	三三、八〇
	一七、五〇	—

各地市況

	寄	引
二新	三四、三〇	—
優先	一七、八〇	—

▲橫濱生糸 前場引 後場寄

當限	—
先限	八三〇、〇〇

●哈爾濱大豆

限	値
一月限	九、七五
二月限	九、六〇
三月限	九、五五
出來高	—

●同小麥

限	値
一月限	一、三三五
二月限	一、四〇〇
三月限	一、三五〇
出來高	—

▲神戸豆粕

限	寄	引
一月限	四、〇七	四、〇七
二月限	四、〇六	四、〇六
三月限	四、〇六	四、〇六
四月限	四、〇七	五、〇七
五月限	四、〇九	四、〇九

新京取引所市況（一月九日後場）

現物（一石値段）　定期（混合百斤値段）

	寄	引
大豆	一〇、四〇 五車	三車
先物一月限	四、九九	四、九五
二月限	—	—
三月限	—	—
四月限	—	—
五月限	—	—

手形交換（九日）

金票	二三六枚	一四四、四三六八
鈔票	一五枚	一四五四〇
國幣	六六枚	一六八、〇四〇七

鮮魚小賣相場（九日）

百匁ニ付

品名	最高	最低
活タイ	八四	六七
氷タイ	二五	…
チヌタイ	…	…
連子鯛	二六	…
アマタイ	一九	一六
中小タイ	三六	二九
ニベ	…	…
ブリ	二八	二〇
カツオ	…	…
ヒラス	二八	…
サワラ	…	…
サバ	二六	…
アヂ	二五	…
カレイ	一〇	八
ヒラメ	一八	九
ボラ	二二	八
コチ	二二	九
コノシロ	…	…
キス	…	…
イワシ	一八	一三
ムツ	…	…
アコウ	…	…
サヨリ	…	…
マナカツオ	一八	八
カナ頭	一〇	…
ホーボー	…	…
タコ	二二	一〇
イイタコ	…	…
イカ	四二	…
水イカ	…	…
イセエビ	六〇	六六
車エビ	九〇	…
アナゴ	一二	…
コエビ	…	…
貝柱	…	…
白魚	…	…
カニ	…	…
ナマコ	四〇	一〇
アワビ	三〇	三〇
カキ	四〇	二〇
ハマグリ	…	…
シジミ	一五	…
アサリ	…	…
カマボコ	六七	三二
チクワ	…	…
マグロ切身	八〇	三〇
ニベ同	…	…
ブリ同	四五	三五
ヒラス同	…	…
サワラ	…	…
タヂラ	三五	二二

日滿の關係に就て

陸軍大將 吉田豐彦

滿洲は我が國の「生命線」であるといふ、この言葉を分析して見ると、滿洲は我が國に對して國防上の「生命線」であるといふ言葉と、滿洲はわが國に對する經濟上の「生命線」であるといふ二つになるであらうと思ふ、國防上の「生命線」であると云ふことは、實にその通りであるが、この解釋はかなり六ヶ敷いものである。世界の地圖を見ると、日本の本土は太平洋洋上に九州を枕として横つて居る九州を枕として日本々土は太平洋上に平和に睡つて居る、その喉元のところに朝鮮が恰も短劍のやうに突刺さんとして居る、その短劍の劍身は朝鮮であり、その短劍の柄は滿洲である、若しこの劍の柄を他國が握つて自由にするといふことであれば、日本はいつでも喉元を刺される關係になるわけであるから、この劍の柄を他の國に握られないやうにせねばならない、即ち所謂滿洲が日本に對して國防上の「生命線」であるといふ所以である

◇……◇

斯くの如き次第で昔から日本に於いては朝鮮或は滿洲とは國際上の問題が始終あつたのである、古い時代に於いては神功皇后の三韓征伐がある、その後數回朝鮮と事件があり天智天皇の時には百濟を援けて新羅や唐の軍と戰つた、ずつと近代になると豐臣秀吉の朝鮮征伐があり、明治十七年の朝鮮事變があり、二十七、八年の日淸戰爭があり、三十七、八年の日露戰爭があつたが、その原因は皆この短劍を自由にされたくないと云ふことに在つたのであつて其のために我が國は頗る奮鬪努力したのである、それ程密接な關係をこの日本と滿洲がもつて居るのであつて、その密接な關係をもつて居る滿蒙の地は、今日においては我々の「生命線」であるとまで云はれて居るのである、そのために從來から日本は滿蒙に對して多大の犧牲を拂つた、然しながら今日までの仕事は要するに滿蒙開發の端緒を開いたに過ぎないのであつて、滿蒙の開發には今後大いに努力しなければならない

◇……◇

滿蒙の產業開發についてどういふことをすればよいのかと云ふと、一言にして云へば鐵道を敷き道路を拓き、人間の居住を便利にし、物資の運搬を便利にする、而して治安を維持して產業を開發することになる、また產業の開發について最も我々が注意しなければならぬことは、根本問題として滿洲に基礎工業を起すことである、この基礎工業を起す上に、一番關係のある點は、滿洲における資源の狀態如何にあるといふことに歸するのである、そこで日本が近代的な產業の發展をなすといふことを方針として居る限り我々は滿洲國と離るべからざる關係にあるといふことになる、なぜならば滿洲には鐵鑛が豐富であり、石炭が豐富である、また石炭にある方法を講ずると石油の補充も一部分は出來る、又近頃漸次需要が增加した「アルミニューム」とか、「マグネシューム」とかいふやうな輕金屬の原料も非常に澤山ある、又南滿洲の沿岸地方は製鹽に適當して居る、つまり鐵問題、燃料問題、輕金屬の問題、それから鹽の問題といふものは、所謂わが國の國防上のみならず經濟上にも最も緊要な重大問題であるが、滿洲はこの重大なる問題に關して大部分解決し得る資格を有つてをるからである故に日滿共存共榮の決心を持つて我々はどうしても進んで行かねばならないのである

東滿

北寧鐵路局で觀光事業の研究

北支の平和的將來に備へて 日、滿兩國に視察員を派遣

【吉林國通】北支自治運動の渦中にある北寧鐵路は滿、支兩國を結ぶ唯一の交通機關としてその將來性を期待されてゐるが、同鐵路局では現在の北支問題が圓滿解決を見日、滿、支三國の親交が深まれば深まる程同鐵路の運用度が益々重加されるは必然で、これに伴ひ日、滿、支遊覽客の往來も相當數に上るであらうから日、滿兩國鐵道の實施しつつある旅客誘致施設並に誘致策の視察研究を行ひ近き將來に於て日、滿兩鐵道當局と緊密なる聯絡の下に觀光事業の發達に盡すべきであるとの方針を樹て賈臘徐繼善、葉類生の兩局員を視察員として日、滿兩國觀光事業視察に赴かしめたが、兩氏は奉天經由八日吉林に到着、先づ本冬より開始された江南、北山兩スキー場を始め種々の觀光施設を研究「流石に滿洲一の遊覽都市だ」と讃歎これを久しうして斯くの如く北寧鐵路局が今尙混沌たる北支政情の渦中にあつて早くも平和的觀光事業の研究に乘出した事は何物かを暗示せるものとして各方面の注目を惹いてゐる

滿鮮對抗スケート大會 來月二日開催

【安東國通】安東地方事務所では來る二月二日鴨綠江林區に於て滿鮮對抗スケート大會を開催する事になり、近く社會係より協議種目其他詳細決定されるが、參加選手は平壤江界、新義州の朝鮮側に、滿洲側より安東、奉天、大連、撫順、新京、ハルビンの各地より合計百名に上る豫定で、當日の盛會さが今より期待されて居る

が協議され財源の許す範圍內に於て實行に移される筈

國線速化の研究

空陸連帶の準備も進める

【奉天國通】鐵路總局では最近鐵道省の關釜連絡大型快速船の新造、鮮鐵の京城釜山間六時間走破特急計畫等に刺戟されて全國線のスピードアップ及各線間連絡の圓滑化について鋭意研究を進めてゐるが更に進んで同局では滿洲航空輸送界の異常なる發展に應じて空陸を結ぶ連帶運輸を開始すべく着々準備を進めてゐる

彈藥一五四一發其の他反滿抗日旗、同印鑑等

又密偵の報告により奉吉線小城子附近にも同樣隱匿銃器あるを偵知した黃旗屯警務段に於ても持丸巡長以下二名を派遣搜査に當らしめ十二月三十一日甲黑頂子に於て左記銃器を發見押收した

小銃二挺、同彈藥二〇四發 拳銃二挺、同彈藥一四五發 手榴彈一

吉鐵の站段會議

十七、八兩日擧行

【吉林國通】吉鐵では來る十七、十八の兩日午前十時より管下各站、段長約百名を招致事務聯絡打合せの爲め同局四階會議室に於て管內各站、段長會議を開催する事となつたが、本會議に於ては局側と各站、段長との間に充分意見交換をなし、今後一層の事務圓滑化を計る筈である

新站警務段では十二月卅一日一月二日、一月五日の三回に亘り京圖線二道河、老爺嶺間線路西方約十支里の山林內數ヶ所を搜査の結果左記銃器、彈藥その他を發見押收した

小銃十三挺、拳銃十八挺、

吉林の陸軍始め

【吉林國通】八日吉林の陸軍始めは諸種の都合により分列式は取止めとなり拂曉午前四時半を期し非常呼集演習が行はれた、即ち「突如某國スパイ市內に潛入し、電信電話網を庶斷すると共に果敢にも新開門附近の市街爆破を開始せり」との想定の下に未だ明け切らぬ街上を夜來の小雪を衝いて活動、日滿軍警總動員の非常時軍國風景を展開した

匪首五龍を逮捕

銃器多數を押收

【吉林國通】客年末五常、額穆、敎化縣下を横行蟠林の下に小頭目として三十の部下を率ゐ匪行を逞ふしてゐた匪首五龍(三一)が敎化縣城西門外の飲食店にて潛伏中を逮捕され、彼の自供により彼に多數の銃器隱匿しあるを知つた

南滿

奉天都市建設五ヶ年計畫

市政公署で協議會

【奉天國通】奉天都市建設五ヶ年計畫に關する計畫案は昨年末迄に完了したので本年度より之を實施に移すべく七日午後四時より一週間に亘り市政公署會議室に於て山口參事官以下各課長出席し會議を開催、原案に基き實行案を協議することになり、七日の第一日會議に於ては市內道路計畫案が協議されたが尙社會敎育衞生其他に就ても夫々實行案

朝鮮

滿洲國の前途洋々たるを痛感

紐育タイムス東洋記事編輯長

【京城國通】南北支那及び滿洲國を視察し來京中のニューヨークタイムス東洋記事編輯長スターリング・フイッシャー氏は七日正午宇垣總督を訪問し左の如く觀察談を試みたアメリカが何故滿洲國を承認しないかに就ては國務省に尋ねてもらい度いものです、アメリカも一般民衆の間に滿洲國に對して好感情が生れつつある事は事實であるが最近北支の自治運動で聊か逆轉のうらみがある今回私自身で滿洲國を視察した結果その前途は更に洋々たるものがあるを痛感した、北支問題に就ては日本の政策乃至軍の方策に就ては適確なる判斷を下すことは出來なかつた

尙同氏は八日午後東上の豫定である

歲末同情週間寄附者芳名(五)

▲一圓宛 朴泰晋、朴晶華、吉川荒次郎、▲二圓 進勝市郞、▲一圓 張吉德、▲五十錢宛 …澤、朴春變、李成道、…孟福星、李敬先、姜貴…潤、沈宣幸、早誠九、…▲四十錢 朴在用、…日印刷所朴準…金義用、藤記義治、…馬永洙、朴元根、趙江…濟義、由宋雨、李根…濟、金龍先、尊元道、…▲二十五錢 朴茶豐、…李基淳、▲二十錢 無名、…五錢 金要設、節元澤、…▲十六錢 尹榮祥、…樂、毛利嚴、李基…

鈴木太郞、月炳直、石璋…譲、月炳順、月炳昌、無名氏…塚、…

…藤高瀨、赤塚政義、佐々間退輔、濱屋數辻、中村富彌、中村千秋、平田軍二郞、辻實、杉田義人、鮫島貞雄、松本末吉、中村壽藏、松岡淳、大原繁、野崎逸二、杉本武、白水馨、多田敏男、本川秀男、秋元正美、片平佐市、藤井平二久保擧家、河原地悅二、山崎一男、及川修一郞、遠藤勤一東野東一郞、橋二郞、守家完勝野政明、中村勇、蒲澤義夫岡元保守、歲川治、西川勳篠原泰雄、川崎重壯、黑木繁▲一圓宛 大石義三郞、▲五十錢 稻川利秀、田中孝保、▲十錢 田上ハツエ、▲二十錢宛山本淸一、竹內正己、▲三十錢宛 浦島吹子、▲五十錢宛師岡七郞、麻生久、▲一圓宛水江七郞、麻主磯平、▲一圓宛厚木德一郞、中尾哲雄、藤源芹平、新岡悅藏、和田重東、西原一彥、大岸七郞、▲二圓宛田中照代、宮崎千年、▲五圓矢川甚藏、▲六圓六錢中野久直、▲二十六圓九十錢新京ヤマトホテル新岡悅藏、▲三圓中川信、▲五圓山西恒郞、▲一圓宛津川哲三、森市松、▲五十錢宛佐々木安明、渡部好太郞、▲二十錢宛工藤重之、大竹七三郞、▲二十錢宛佐藤純三、內藤正技、松本直俊、弦差情子、牛田淸秀、稻永勝三、入江利光、▲十錢宛稻津敬馬、長谷川榮作、田口ふじ技、久木吾一、松元久代、手津房枝、柳田川崎秀雄、前田千代子、須善能、小笠原貞男、松村山崎孝雄、道川慶造、無名、黑太源治郞、瀨戶貞治、黑谷、津田忠雄、瀨戶宏治、瀨戶マサ子、稻垣稔、松本、野口、▲二十錢宛中店、▲十錢宛足立一千歲、髙木、野中太郞、村上シズ、山本稔研島井種三岡崎光義、田中一郞、中央藥店、中島アキ子、西勝、新藤ハマヨ、生眼堂、稻垣正夫、小澤賢二、山本初夫、中央藥店、蒲原、稻崎泰子、稻崎健▲十錢山內武、▲二十錢宛深野履物店、小林善男、▲三十二錢渡邊運動具店、産▲五十錢宛酒井商堀、野店、香丁屋三好野、大和藥房、▲一圓宛山內廣重、石田ミヤコ、德本ハルエ、久末志藏、茂木金三郞、秩父屋、丸福果實店、萩原健樹、三宅リウ、丸德商店▲二圓宛古谷市之司、外山フサ、小林履物店、久末吉次、▲三圓德本長松、▲二十圓武田胤雄、▲一圓宮光房一、五十錢宛淸水秀雄、井村陶臓內村淸則、小原哲夫、高杉純弘、立川宗一、▲三十錢金澤武司、▲二十錢宛井上光枝秋山多嘉、高柳キヨ、萩原綾子宮原秀子、二ノ方富子、山…

▲十五錢宛 靑太順太郞、大宮二郞、▲三十錢宛 福永國丸、河部善雄、▲二十錢宛 三宅定和、中野貞男、米滿敬小森耕一、小山英雄、小島信雄、上夫、綿鍋彌垣、木下哲雄野數惠、▲十錢宛 小島公平田村常彥、下津七郞、山上原喜左衞門、小川穎信、本良茂、金井晃、井手末西山重治、山本敎行、伊地信伊藤一郞、岡山隆雄、佐知平、山崎淸、福元弘、佐

値だんは高くても榮養價がない！

これでは丸で話しにならぬ 主婦の工夫が欲しい

日常の食品について、私達の頭にしみついてゐる所謂上等なもの、下等なもの又値段の高いもの…お安いもの……かうした區別は、實際に私達のからだにとつて最も大切な、つまり榮養上から見る時にはまるでてたらめで、何の順序にも標準にもなつてゐはしないのです。

牡蠣と豚の肝臓

例へば牡蠣は秋から冬にかけて第一の食品だと云ひます、實際牡蠣の榮養價は非常に高いに違ひないのですが、しかし、大きな動物の、例へば豚などの肝臓は、成分に於て、牡蠣と殆ど同じやうなものです、牡蠣の蛋白質一一・六〇カロリ一七七に對し、豚の肝臓は蛋白質一九・五、總カロリー一一・九ですから、決して劣ることはないのです。その上肝臓に多く含まれてゐる銅、鐵分のその二つ割合といふのが我々人間血液をつくるに丁度よい割合に入つてゐるのです貧血の人などは牡蠣の代りとしてでなくとも特にこの肝臓を食べるのがよろしいのですうす切りにして生姜醤油で燒くと、はじめての人にも大變おいしく食べられるものです

鯛と青魚の比較

鯛、平目などの成分は、はうぼう、いさき、かながしら、まなかつを、こはだ、にしんいわしなどと殆ど同じです。その上に青魚はビタミンDを含んでゐますから、ことにこれから冬にかけて戸外に出ることが少く紫外線の不足する都會生活者は、鯛や平目は猶らなくとも、このビタミンDの入つたものは是非とつて頂きたいと思ひます。鯛の蛋白質一九・二〇、總カロリー一三八に對し、はうぼうは蛋白質二一、三〇、總カロリー一三三、こはだは蛋白質一八五〇、總カロリー一二〇です

牛肉と鯨の肉と

牛肉の成分と鯨肉の成分は殆ど變りません、牛肉の蛋白質二〇、〇七、總カロリー一四三に對し鯨は蛋白質二二、五〇、總カロリー一一五です、うす切りにした鯨の赤肉を生姜醤油でつけ燒にして食べてごらんなさい、おいしいものです。

伊勢エビと芝エビ

エビは立派な伊勢エビも芝エビでも、小さなお安い櫻エビでも殆ど同じです、かへつて無機質の點芝エビ、櫻エビの方がまさつてゐるのです、成分は伊勢エビの蛋白質一八、七〇、總カロリー九三、芝エビ（櫻エビ）は蛋白質一七、〇〇、總カロリー八一です

榮養 カズノコの

カズノコは鰊の卵を採り、そのまま日光で素干にするか、樽に鹽漬として貯藏したものであります
魚の卵の蛋白質はイヒチユリン——と稱せられるものが主で、極く榮價の高いものであります。
又其の脂肪はレチチンと名付けられるものなどの、化學上でいはゆる類脂肪と云ふ脂肪に似た養分を多量に含んでゐる特徴があります。日常適量に用ひれば、發育化に効果の多いものであります。又卵も卵殻膜も消化し易いと云ふ事も利用能率を高める所以となります。

ねずみに關する日本の傳説集

"白鼠の怪"

九州の片田舎に藤崎トンネルといふのがある、俗に人喰ひトンネルと呼ばれてゐるが幾年前か、このトンネルの入口で工夫達が働いてゐる處へ一人の若い女が通りかゝつた鬼のやうな彼等はその女をトンネルの中へ引づり込んで暴行を加へた。それから間もなく女の死體が附近の溜池に浮んだ。不思議な事に女は一匹の白鼠を抱いてゐた。女の怨は白鼠となつて工夫達を呪ひ始めた。それ以來見廻りのためにトンネルに這入つて行く工夫は誰一人として歸つて來るものはなかつた。女の怨のために工夫達は背トンネルの中で無慘な最後を遂げるのでそのあたりには必ず白鼠が一匹ゐたといふ。

"忍術家の失敗"

戰國時代の英雄武田信玄に小坂甚六といふ家臣があつた當時群雄雲の如く割據した時代で寸分でも隙あらば敵を倒さんと身がまへてゐた、從つて武將はお互に忍術家を養ひ敵の動靜を探らせる事としてゐた。甲州武田信玄にも小坂甚六を首領とする忍術隊が組織されて用意周到を極めてゐたのである。小坂甚六は伊賀流忍術の大家でよく鼠を用ひた。これは一種の藥品を用ひて鼠を使ひ、その目的を達するのである。

彼は當時武田家の警視總監格で、主君の寵を一身に集めては少々我儘がこうじ、得意とする忍術を用ひて城内の婦人を犯す樣になつた。之を聞いた春日刑部の妻は或夜甚六が得意の忍びをやつて深閨の婦女を犯さんとしてゐる時に金色の鼠を出してその術を破り、今後を訓したのである。以來彼の我儘は止んだ。

此れは科學的に見て稍々誇張された點があるが、鼠を使つて忍び込む事は當時では容易に行はれたのである、徳川時代に於ても有名な鼠小僧が同じく鼠を使つたとされてゐるから、忍術に鼠を利用した事は全然嘘ではないらしい。

"鼠の禿倉"

人皇第七十二代、白河院の御代の事である。白河院の中宮には御子が生れなかつたので、帝は日夜大御心を惱ませ給ふた結果三井寺の頼豪と云ふ僧をお召しになつて加持祈禱を御依頼になつた、その條件として若し中宮が子を産めば、其方の願は何事なりとも聞き届けて取らせるぞよとの事であつた。

頼豪は寺に歸るなり一生懸命に加持祈禱を試みた。その法力が現はれた爲か、中宮は御懐妊遊ばされたので、帝は非常にお喜びになり早速頼豪を召し寄せて希望條件をお聞きになると、頼豪は三井寺に戒壇を建てて貰ひたいとの事であつた。式壇は佛戒を受ける道場で、當時何處の僧徒も欲して止まないものであつた。

と云ふのは當時の佛法は主として貴族顯紳の信奉せられる處であり、從つて佛法最高の儀式たる佛戒も貴族顯紳の受ける處であつた、されば戒壇建立は自ら貴族顯紳の信任を得る機會も多いと考へられてゐたのである。さういふわけで、その建立は一朝一夕に許さるべきものではなかつた。即ち瀬豪の希望を容れるとすれば、三井寺と對立關係にある比叡山の僧徒を怒らせる事になる、故にこの希望は到底許される性質のものではなかつたのである。

頼豪は自分の希望が聞き入れられないのを悲しみ、直ちに寺に歸つて、佛間に端座し死んでも此の恨みは必ず返して見せると、その日以來斷食をし始めた。そこで帝は不敢取大江匡房を遣して頼豪をお諭しになつた。匡房は頼豪の兄であるから早速三井寺へ行つて對面しようとしたが、頼豪は怒つて「天子に戲言はない筈だ。望む處を許さぬならば己が祈つて皇子を伴つて、一緒に魔界に入つて恨みを晴すまでの事だ」と傳へたまゝ、兄の匡房に對面しなかつた。其後恨み言を口走つてゐたが遂に死んで仕舞つた。其の後帝の御夢に、白髪の老僧が異樣な格恰をして皇子の枕頭に立つてゐるを御覧になつたので、不思議な事には間もなく皇子はお崩れになつた。又頼豪の靈魂は鼠となつて比叡山に上の佛像經巻を手當り次第に咬み破るので、帝は勅して祠を立てしめた。世人は之を比叡山の鼠の禿倉と呼んでゐる。

十分間停車ダ 坊ヤヲ連レテ散歩シテ来ヤウ
サウ、ヨク氣ヲツケテ頂戴ヨ
サア、汽関車ヲ見ニ行カウ。
ソウラ、大キナ玩具ダラウ
コレハ御家へ持ッテ行ケナイ
(1) (2)
© 1926, by King Features Syndicate, Inc. Great Britain rights reserved.

今日の話題

△十日は陸軍の入營日、海軍前期入團日であります。
△我が陸軍に始めて軍用電信隊の設けられましたのが明治十三年の今日でありました。もつとも軍用に電信を用ひたのはそれより以前のことで西南戰爭の寫眞帳にもその寫眞が見えております
△愛國機の最初の獻納がやはり同じ日のことで昭和七年に當ります。代々木練兵場で「愛國號」第一號、第二號の命名式が行はれ、これを皮切りとして續々と愛國號の獻納が行はれたのであります。
△今日を命日とする人に大隈重信侯（大正十一年）があり
△今日を誕生日とする人に明治時代の文學者高山樗牛（明治四年）ロシャの作曲家スクリャビン（西暦一八七一年）などがあります。

ラヂオ けふの番組

（M・T・C・Y 新京放送局）十日（金曜）

◎朝◎
六、三〇 御製謹話（十） 東京帝國大學教授 後醍醐天皇御製 東洋大學學長 文學博士 藤村作
七、一〇 氣象通報（大連）
七、一五 初等滿語講座（大連） 講師 秋父固太郎
七、四〇 初等日語講座（奉天） 講師 近藤喜助
八、一〇 朝の音樂（大連）
八、三〇 經濟市況（東京）
九、〇〇 早晨演奏
九、二〇 料理獻立
九、四〇 經濟市況（大連）
一〇、〇〇 家庭講座 武道に就て 大日本武德會滿洲支部囑託教師 石橋例
一〇、二五 家庭メモ
一〇、三五 經濟市況（大連）
一〇、四〇 經濟市況（東京）
一〇、五九 時報（東京）
一一、四〇 ニュース（東京、引續き新京）

◎晝◎
〇、〇一 經濟市況
〇、二〇 晝の演藝（レコード） 長唄「越後獅子」 唄 松永和風 外
一、〇〇 白天演藝（哈爾濱） 清唱 彩樓郎
一、二〇 ニュース（滿語） 朱榮久 外三名
一、三〇 成人講座（滿語） 防空之常識（五） 講師 鑒宙
一、五〇 下午演奏（滿語）
二、〇〇 經濟市況（大連） 引續き 日用品値段（滿語）
二、五〇 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニュース（東京）
三、二〇 東京大相撲春場所實況（初日） —東京兩國國技館より中繼—（備考左の放送時間には中繼す）
三、三〇 經濟市況（大連、引續き新京）
三、五〇 ニュース
五、〇〇 子供の時間 哈爾濱 ハーモニカ獨奏 篠原伊佐尾 一、軍艦マーチ 二、童謡集 三、郭公鳥 四、ラ・パロマ 五、ダニューヴ河の漣
五、二〇 コドモの新聞（東京） 村岡花子
五、二五 氣象通報 番組豫告

◎夜◎
六、〇〇 ニュース（東京）
六、二〇 今晩の番組 官廳公示（滿語）
六、二五 政府公報（奉天）
六、三〇 國民の時間 年頭之辭 奉天省長 葆康
七、〇〇 謠曲「東北」（東京） 島田美惠
七、二〇 連續講談 吉良の仁吉（終席）（東京） 神田ろ山
七、五〇 歌謡物語 道化師（北村壽夫作曲）（東京） 夏川靜江 唄 山田道夫
八、三〇 時報・ニュース（東京）
引續き ニュース
八、四五 ニュース・經濟市況（滿語） 氣象通報・番組豫告（滿語）
九、〇〇 舊劇（滿語）（哈爾濱） 失街亭 劉志遠 外九名
一〇、〇〇 北滿の時間（哈爾濱）（露語） 一、講演「此處と彼處」 ゴルスキー 二、ニュース

島田美惠さんの謠曲「東北」

◇……午後七時東京より

……島田美惠さん

「かるが故に天地を動かし鬼神を感ぜしむる事業、神明佛陀の冥感に至る殊に時ある花の都雲居の春の空までものどけき心を種として天道にかなふ詠吟たり「所は九重の東北の靈地にて王城の鬼門を守りつゝ惡魔を拂ふ雲水の水上は山陰の加茂川や末白川の波風もいさぎよき響は常樂の縁をなすとかや庭には池水をたゝへつゝ鳥は宿す池中の樹偕は歐く月下の門出で入る人跡數々の袖を連ね裳裾を染めて色めく有様はげにげに花の都なり「見佛聞法の數々順逆の縁はいやましに日夜朝暮にこたらず九夏三伏の夏たけて秋來にけりと驚かす閒底の松の風一聲の秋を催して上求菩提の機を見せ池水にうつる月影は下化衆生の相を得たり東北陰陽の時節もげにと知られたり「春の夜の」春の夜の闇はあやなし梅の花「色こそ見えね香やは隱るゝ」香やは隱るゝ「げにや色にそみ香にめでし昔を「よしなや今更に、思ひ出づればわれながらなつかしくこひしき涙を遠近人にもらさんもはづかし暇申さん「これまでぞ花は根に「今はこれまらぞ花は根に、鳥は古巣に歸るぞとて、方丈の燈火を、火宅とやなほ人は見ん、こゝこそ花の臺に和泉式部が臥所よとて、方丈の室に入ると見えし夢は覺めにけり、見し夢は覺めて失せにけり。

夏川靜江さんの歌謡物語「道化師」

後七・五〇 東京より ◇……北村壽夫作

田舎巡りの輕業一座とともに道化師賢吉は流れ〳〵て四月の初めに上州のある溫泉町に着いた。その頃町には一人の美しい女の客が噂の種になつてゐた、あと三日で此處を引上げるといふ日、散歩に出た賢吉はとある宿屋の二階で日向ボッコをしてゐる噂の主を見た「おや綾子さんぢやないか」彼女は黒い眼鏡をかけてゐたが彼の直覺力は鋭くそれを射拔いたそれは七年も昔の追憶であつた。賢吉が親友の笹岡と赤倉で多を過した時ふとした機會に綾子を知つたがそれ以來彼女を廻つて昨日の友は敵と變つた。そして一年の後綾子と結婚したのは笹岡であつた。世界的藝術家にと精進してゐた賢吉は踏みにじられた初戀に零落に零落を重ね道化師にまでなり下つた

噂の主が事實綾子であり而も今は盲目になり深山と變姓を名乘つてゐる事を探つた賢吉は今日歸るといふ日に、賢吉の友人と僞つてその宿を訪れた。そしてその昔彼女が賢吉を愛し、今もなほ愛し續けてゐるといふ告白を受けたが人生の裏をゆくこの道化役者のせめてもの人間らしい行ひは彼女の前からこの醜悪な顔を魂を消し去らせることであつた。

夜の十二時に近かつた。五臺の荷馬車はトボ〳〵と月夜の峠を登つて行つた。馬車の上の賢吉は月光に照された古ぼけたタキシード、ボロボロのズボンに悲慘な道化師の姿をはつきりと見せつけられてゐた

連續講談 吉良の仁吉

今晩は終席 【後七・二〇東京】 神田ろ山

次郎長は、自分の子分大政小政を始め十七人の者が、堅氣の旦那方に喧嘩を賣り、自分の顔に泥を塗つた事で、これ等の子分を斬つて仕舞ふつもりで、仁吉の所にやつて來たのだが、長吉や仁吉の話を聞き感心した。そして仁吉の詫言に免じて、子分十七人を許してやりその代りお前達は長吉の助太刀をして丸く納まるものなら納めろ、若し駄目なら命を捨てて來いと命じた。子分達は、親分のお許しが出たので大喜びで出掛ける事になつた、次郎長は仁吉の親分の寺津の間之助に會ひ、總ての話をつけ、こゝに長吉を先頭に、仁吉と大政小政等、清水の子分同勢二十九人勢よく荒神山へと乘込む事になつた

文藝

渡滿せる人々（上）
新年文藝貳等入選作

下島甚二

「いかんよ、それあいかんよあんな奴から借りるんだつたら俺あ一緒に行かん。」と原口が周章て腕を伸ばして岡を坐らせやうとした、二人の間に挾つた食卓の上には、もう七本の德利が立並んでゐたのだが、岡は兎も角として原口も今夜は、いくら猪口を重ねても醉が廻つて來ないのだつた。えたいの知れない何物かに膽を　けられ、腹を立て度いにも癇癪をぶつつけてやる相手の所在が分らない様な變な氣持であつた。こんな感情を彼は最近ちよくちよく經驗するのだが彼より三つ歳上の岡は

『それあ勿論、暫く行かないからさ』

と簡單に結論を下すし、滿語の夜學に出掛けて行つて此の席には居なかつたが彼等と同居生活を送つてゐる米川は、

『役所であんまり壓へつけられてるもんだから、その鬱憤が知らぬ裡に溜つたんだらう』と說明して異れるのである

　どちらも理窟はある様に思へたが少し腑に落ち切れぬところがあつた。俺の様な單純な頭ではどうせ分らんのだと部屋に閉ぢ籠つて、岡を相手の碁と六百けんにも飽き、例のもやもやが兆して來ると居ても立つても居られなくなり階下の食堂へ下りて行つてボーイに蓄音機を掛けさせ、一本二十五錢の德利を前に並べるのである。

　然し岡が、今夜は一つ繰出さうぢやないか、チップだけあればいいんだから西山の所へ行つて一寸借りて來ると云つて腰を上げた時、原口の腦裡に役所で机越しに毎日眺めてゐる西山の白こ粉を噴いた顏が急に小憎らしく浮び上つて見え、今迄の憤滿の一切の原因が悉くそののつぺりした顏に根ざしてゐる様に思はれ、我れ知らず腰を浮べて岡を止めたのであつた。

　岡はその手を振り拂つて、なにさう細かに考へないでもいいよ、一寸待つとれと云ひ殘して、特長のある大きな肩を振り振り廊下へ出て行つた。

　アパートの長い廊下を過ぎて行く時、流石に岡も一寸後悔に似たものを感ずるのだつた。十日程前に貰つた差引きの多い俸給袋は、殘つたものもその日の中に大半を借金取に持つて行かれ、後の若干はその夜更けに誰かに助けられてやつと乘つた馬車の上で前に投げ出した脚先がちぎれる程冷くなつたのに氣がついて醉が醒めかけた時、あ、又かと思つて懷に手を突込んでみたのだつたが、その時は既に蝦蟇口の中には最後に殘つた幾枚かの白銅貨が薄く光つて見えるだけだつた。月末のこんな經驗はもう夏の頃から續いてゐるので、實は彼が役所の近くの支那宿から街の眞中に在る獨身宿舍の原口の狹い部屋に引越して來たのも、赤字續きの財政を幾分なりとも立て直す目的から出た事であつたが、結果は交通の便が良くなつた爲に彼の外出も自然頻繁になつて行き、財政の方の建直しもついそのまゝになつて了つたのは大に遺憾である。

　西山の室の前で一寸足を澁らせてみたが、持前の屈託の無い性格から質草も何も無くなつた今これ以外には途が無いのだと思ふと面當臭い反省などしてゐる暇はなく指はもうドアをノックしてゐた。

　西山は未だ起きてゐた。這入つて來た岡の赤い顏を下からチラと見返してから、讀みさしのキングの頁を白い指で折り曲げ、默つて椅子から立ち上つた。

　机を据ゑた前の壁には安物だらうが大きな丸鏡が掛つてゐて、その前にポマードやらベーラムの類が並んでゐる。部屋の隅にはベッドが置いてあつて、その裾の邊に洋服入れになるトランクが立ててあつた。

　此の部屋に這入る度に岡は思ふのだが此の宿舍に住んでゐる連中と云へば殆んどみな同額の月給を貰つてゐる雇員同志であり乍ら西山ばかりはどうして斯うも悠々と一人で一室を占有して暮せるのだらう。自分と四疊半に生活を共にしてゐる原口にしろ米川にしろ、或は役所の誰彼にしろ昨日や一昨日の渡滿者ではないのだが今だに半年も前に拵へた洋服の拂ひに苦勞をし、僅かばかりの新聞代がもう何ケ月も溜つて了つたりするのだらうと、ぼんやり解決のつかぬ問題を頭の中で考へてみるのだつた

『又濟まんが、少しでいいから何とかならんかい？七日に宿直料が貰へるからそれ迄でいいんだが。』

　岡は鏡に映つた自分の顏を睨みつける氣持でこれ丈云つてしまつてから、もつと和らかく切り出した方がよかつたかな、いや、いつかの様に下手に出ちやあ澁るばかりだから此の方がよかつたのだと理窟を見付けて氣を安めるのであつた。

　西山はも一度相手の顎の張つた四角い顏をチラと眺めてから眼を伏せ、もう如何やつても逃れられぬ氣持で默つて机の中から小箱を取り出すのだつたが

『僕だつて今日は色々入費つてもう二三圓しか無いんだが——』

　と云つてしまつてから、自分の言葉の幾分不自然れた調子に氣附き、酒癖の良くない岡の事だから妙に　んで來ちや困ると早くも氣を廻すのだつた。

『そいつをみんなぢや濟まんが、一寸急用が出來たんでね、ぢや二枚持つてくぜ。』

　岡が難有うと云つてのつそ〳〵部屋を出て行つた後で、西山は机の上の雜誌を摑んで立ち上つたがいきなり音をさせてそれを床の上に投げつけた忘れてゐた憤滿が不意に胸の底から噴き上つて來るのが感ぜられ、鏡の向うにゐる自分の顏が淺間しい迄に貧弱に見えそ奴に思ひ切つて唾を吐きて掛けてやつたら氣が濟々するだらう、自分がコーヒも啜らず出勤のバスにも乘らずに儉約してゐる小使を彼は鼻紙でも貰ひに來た様にしていづれは女のところへでも持つて行つて終つたのだらう。かうした經驗は二三度に止まらなかつたと思ふと、一そ今から追ひ掛けて行つて取り返して來ようかと思つたりしたが、どうせ岡の事だから後で皆の前で西山はケチだとか何とか云ひふらすに違ひない、少し程のところはまあ我慢して置かうと考へ直すのだつたが思へば思ふ程相手の人を舐めた太々しさに腹が立つより、彼の壓力に對して一言の反抗も出來なかつた自分の弱さが先づ以て慘めに感ぜられ、憤り立つた心の裡も何時の間にか納まり、食堂へ行つて葡萄酒でも飮んで來て彼等の部屋へ乘り込み、俺だつて、酒位飮めるんだぞと見せつけてやり度い等と張り詰めてゐた氣持も何時しかふうと拔けて行つて、まあ溫なしく寢てしまつた方が得だと部屋の隅の洗面所へ立つて齒を磨く用意にとりかゝるのであつた。

　岡と原口と米川が寢起きを共にしてゐる部屋と云ふのは三階の屋根裏に近い一番奧まつた所にあつた。夏の頃は西陽が直射し、ねばねばしたビールの空瓶の上を蠅が音を立てて群れその下で彼等は裸になつて寢轉び乍ら毎日碁を打つた。暑い新京では西陽が射し込んでも戸外よりは、幾分涼しい氣がしたし實際風も時折り流れ込んで來もした。役所が半日續きの夏時分は、碁に飽きると殆んど毎日の様に食堂からビールを取寄せて三人で乾した。

　冬は——冬と云つても彼等の部屋は格別の變化も見せなかつた。變つたところと云へば今迄壁に掛つてゐた合着の衣類が運び出されそれと入れ換はりにくしやくしやになつた冬物類が持廻られて壁に吊るされた。彼等は狹い部屋に毎夜ごろごろと寢轉んで、花札と碁に飽きると勝手氣儘な話題を摑へて煙草の灰を皿の外迄撒き散らし乍ら夜を更かして行くのである。

　岡は國の中學を六年かゝつて出ると此方の獨立守備隊に入り事變を現地で經驗した四人の中での一番の滿洲通で、醉へば必ず馬賊の親分を俺は五人も知つてゐる。馬占山の討伐の時なんざ奴等を手足の様に使つて一緒に飮みもしたものよと氣焰を揚げるのだつたが、容貌程に年は行つて居らず曹長になつて現地で除隊になつたのは一昨年であつた

二十七歲の唄
新年文藝選外

木曾川徹

辿々しい私の足どりに私は後悔すまい
憎みとほしては笑ひながら泣き
鬪ひとほしては限りない憤滿をぶちまけしかも寒氣の重壓に
精一杯の感傷をむさぼりながら
俺だつてえらくなれるさ!!と切つた啖呵を眞實誰が嘲笑出來ると云ふのだ！
りん然と吹きつける北滿の嵐
たとえ若鮎の様だつた私の希望が
傷み、傷めつけられようとも
トコトコと燃える心のほだ火までが消えはしない………
今宵も私は冷え切つた屋根裏の便所で
排便も忘れて凍つた窓の向ふに
涯しない思ひをかり立てながら
二十七歲の消息を吐息くのだ
よし！尖つた吹雪がこの頰つぺたに突刺つて來ようとも
私は滑りこけそうな足元を頑張つて見せる
來年は眞心こめて…………
太々しい意志を計畫し
スイスイと生活リロンを確立し……等々。
ああ！追はれた魂の蘇生する羽ばたき
吹き續ける師走の北つ風の中で
私はヨレヨレになりかけた生活の旗を
丹念に綴り合せながら
〃俺も幸福になれるぞ！〃
この晴々しい歲末の微笑を誰れが嘲笑出來ると云ふのだ！
——一〇、一二、一四

滿洲ペン倶樂部の設置を提案す

大內隆雄

　私は一九三六年のはじめに當り、個人の資格を以て「滿洲ペン倶樂部」の組織・設置を提案する。

　實は、近東綺十郎君とも相談した上にしたかつたが、三日から旅行に出て、いまこれを大連に向ふ飛行機の上で書いてゐるといふ忙しさのためそれが出來なかつたのである。

　島崎藤村氏をかしらとする東京に於ける「日本ペン倶樂部」の創設が私を刺戟せしめたのではある。だが、「滿洲ペン倶樂部」は元來、一昨年近東君が東京に設置計畫したものなのだ。

　いま、改めてこれを新しい情勢のなかでこさへようではないかといふのが、私の提案希望である。

　私一人で考へてゐるところを次に書く。

一、滿洲ペン倶樂部は本部を新京に置く。M・P・Cと略稱する。支那文では、滿洲PEN倶樂部でいいと思ふが。

二、倶樂部員は、いかなる肩書があるにしても、この倶樂部には全く個人の資格で參加する。

三、會員は大體次のやうな範圍で勸說する。

A、在滿（含關東州）學者教育家（主として文化科學の）

B、新聞・雜誌編輯者・記者・執筆者

C、文學關係者（專ら、評論創作・飜譯の經驗ありすでにそれを新聞・雜誌又は單行本で發表してゐるもの）

×　×

　大體以上のやうな所で、別にむつかしく言はんでも判らう。

　滿洲ペン倶樂部が當面なす仕事は

一、倶樂部員相互の連絡親睦

二、在日本諸團體、新聞社、雜誌社との連絡

　右二項にして、あとはまたみんなで定めたらいい。私は滿洲に於ける原稿料最低標準の確定なんぞ早速提議したい項目である。

　むろん、右に述べただけの仕事にも、相當費用が要る。勞力は無給奉仕としても、事務所と小會合所は先づ新京に必要だ。そしてこれは既設機關の家なんかを借りないがいい。獨立した、便利のいい家を借り、電話を引かねばならぬ。で、この際在新京の會員だけでも家賃と電話償却費は負擔する必要がある。家賃を月三十圓、敷金二つとし、電話を買ひ一年で、支拂ふとすれば、とりあへず五百圓位の現金が要り、あと毎月最少六十圓づつ要る勘定だ。氣前のいい人が千圓ばかり出してくれないかなあ——（一月五日M一五〇號機上より書）

愛よ戰ひとれ（新派上演・映畫化）

福田正夫　作
泉武久　畫

（百二十）

紅珠敷く（二）

　殊江がみつけたのは、俊一の父の世話で、仙臺市にいゝ地位をみつけた、その家の書生の太田だつたのである。

「おめでたう存じます」

　彼も新しい妻をつれてゐた。

「これが妻で……」

「まあ、お初に！」

「どうぞ」

　いふうちも彼等は人波にもまれた。

「太田さん、これが妻です」

　太田は勝美に近よつてさういつたが、——

「いけません、夫人でしたね。はあ、いひなれで」

　と頭をかいたのである。

「じやあ、あとで……」

　邦雄がさういつた。

「はあ！」

　彼等が改札を出ると、わつと群衆がひしめいて來た。——自動車にのつてそれを分けてゆる〳〵と走る中で、殊江はその夫にいつたのである。

「渡邊さんがこれを見たら、よろこぶでせうねえ」

「さうだよ」

　彼は答へた。

「しかしすぐ、もうすぐ、日本に歸つてくるといふじやあないか」

「さう、さうですけれど……」

　彼女はその渡邊をも、眞人として感じてゐたのである。

　が、その車の中で、彼女の手はしつかりと夫の手をつかんでゐるのである。彼女は美しく上氣して滿艷の珠のやうに、耀く群衆にちらつてゐる。それはつゝましい寶だ。つゝましい光り——彼女は夢のやうに、故郷の空を仰いで、前の車から、勝美がふりかへつたのを見た。

「綺麗な方！」

　彼女は呟いた。

　殊江はそれほどに、元から勝美が好きなのである。——そしてその勝美も上氣して、眩いばかりの美しさを、群衆の前に輝かしてゐたのである。

　車はやがて市中を一過した。——青葉城を見たいといふ、勝美の希望があつたからで、彼等は廣瀨川のほとりで降りると、青葉の坂道をのぼつた。

　この市を森の都といふ。

「いゝねえ」

　俊一がやがていつた。

「昔のとほりだ、この街は……」

「どうしてから樹が多いの」

「人間がつよく生きるやうに、樹もつよく生きてるからだ」

　勝美の問ひに俊一が答へた。

「こゝを青葉城といふんです」

　邦雄がいつた。

「森はこの都の花です。……勝さん、森の選んでゐるのを！」

「えゝ、ほんとに！」

「二人は仲がいゝねえ」

　彼等は先に肩を並べて行く俊一と殊江をみつめた。

「私達だつて、さうじやなくて？」

「やられた」

　二人が笑ふと、先の二人もふりかへつた。

「なんだい」

「いゝのよ、はゝ！」

「はゝ、はゝ！」

　意味は無くても、先の二人も笑ふ。——光りはそこに輝かしく、青葉を洩れてふりそゝいでゐたのである。（をはり）

生命財産を脅す火事 今年はお互に御用心
昨年・二日に一件の出火數
損害高約百萬圓に上る

日滿消防機關が口を酸つぱくして一般市民に警告を與へ且つ防火思想を喚起してゐるにもかゝわらず昭和十年に附屬地內外で火事のために失つた財物が金額に見積つてざつと百萬圓、即ち九十八萬六千二百四十六圓餘で前年に比べて六十四萬圓の増加である火事の回數は帝都キネマ、亞洲製粉所、滿洲國需品局等の大火から下は天井を少し位燒いた位のものをも加へ附屬地內外で百八十六件といふから二日に一回づゝの火事があつた勘定になる、これを附屬地內外日滿人別に調べて見ると

△附屬地內—日本人が七十九回滿人二十九回計百八回
△附屬地外—日本人が三十五回、滿人四十三回

で面白いのは附屬地內の日本人は滿人に比べて火事を出す件數が多いが附屬地外は反對に日本人に比べて滿人側が多くなつてゐる、次は損害程度であるが

△附屬地內—日本人側九萬二百一圓、滿人側七千百六十五圓計九萬七千三百六十六圓
△附屬地外—日本人側七十四萬一千百九十四圓、滿人側十四萬七千六百八十六圓計八十八萬八千八百八十圓

で附屬地外は火事の回數に反比例して損害程度が非常に大きくなつてゐる、これは水利の便が惡いのと交通の不便によることを如實に物語つてゐる、更に原因について調べて見ると

△煙突の不完全及び不備五四△殘火及び火の不仕末一六△煤煙の飛火一三△油類其他藥品五△漏電一四△煙草の吹殼及煙草の火二六△ストーヴ及びペチカ一四

等で煙突の不完全が最も多い從つて各月別に見ても五月頃ストーヴを取除く頃の氣節風の時期と火氣を最も多く扱ふ一月から四月頃まで十一月十二月が多い、各月別に示せば

△一月一九回△二月二〇回△三月二四回△四月二一回△五月二八回△六月六回△七月三回△八月六回△九月七回△十月九回△十一月一三回△十二月二七回

となつてゐる

滿洲國幣制統一で 電話相場急下落
一個三百八十圓の安値を示す

滿洲國の幣制統一に依る錢鈔業者兩替業者の廢業は必然的に電話の賣却となり三十二軒平均百六十個の電話が市中に賣り出されてゐるがこれがため電話相場は急激に下落し最近に於ては一個三百八十圓と云ふ安値を示し更に下落歩調を見せてゐる今昨年末との比較を見れば次の通りである（單位圓）

	高値	安値	平均
九年十月	八五〇	六〇〇	七三五
同十一月	八三五	五〇〇	六六〇
十年十月	六一〇	四〇〇	五〇〇
同十一月	四五〇	三八〇	四〇〇

銀麗血塗れ事件 科料て落着

四日午前三時頃市內入船町三丁目一番地カフエ銀麗の表にて若者五人が大亂闘を演じ海軍ナイフで附近を血に染めた慘劇を目擊しながらその旨警察に屆け出なかつたのみならず店主山口マサオは同店女給を無斷に遊客と共に外出させた廉により九日新京署に於て科料十圓に處せられ、女給釜泡キミ（二八）は科料五圓、同丸田ハツエ（一八）は二圓の科料に處せられた

感情上の もつれからか

本籍山口縣豐浦郡生れ現住所市內室町一丁目松木正（假名）＝二一＝は一月二日元共に働いてゐた友人山地某を訪れて年始に行つたが留守のため山地の妻君と一言二言話あつゐが松木はしたゝか銘酊してたたので恐れをなした妻君が一寸座を外した隙に座布團の下にあつた女持蟇口から金十八圓を拔きとり持ち歸つたこと發覺新京署に屆け出で目下嚴重取調べを行つてゐるが松木は資性溫厚物盜をやるやうな男でなく月給も八十餘圓貰つており金に窮するやうな不身持な生活もしておらず或は感情の行違ひからかゝる問題が惹起したのではないかと見られてゐる、なほ持ち歸つた十八圓は山地の手に還つたので實害は少しもなかつた

社員會評議員選擧
新京各分會の當選者決る

滿鐵社員會新京聯合分會では既報の通り九日午前九時から評議員の改選投票が行はれ午後四時から各箇所で開票されたがその結果各分會の當選者は左の通りである

▲第一分會（鐵道出張所）三四票 野田惠
▲第二、三分會は勤務の關係で十日開票
▲第四分會（列車區）四七票 大石義三郎 二七票 平田軍次郎 一七票 佐久間退輔
▲第五分會（保安區）三五票 難波毅 三三票 金澤武司 二六票 岡藤清 一六票 藤田笹一
▲第六分會（保線區）四六票 青山正 四五票 時任泰 同 水越佐七
▲第七分會（范家屯）未詳
▲第八分會（新京驛）八四票 稻川利一 七七票 山口義人 七六票 笠井重光 七五票 拇札幸晴 六三票 柴尾亮之助 五四票 上野譽一郎 四六票 本野仁治 四六票 大塚力 四三票 三好實
▲第九分會（地方事務所關係）四九票 大澤熊吉 四八票 鯉沼兵士郎 四六票 野村茂理 四二票 佐藤鶴龜人 二八票 伊藤武雄
▲第十分會（初等學校）四四票 上原種豐 四一票 明日勝 同 大隈勘次郎 四〇票 諫山鄉視
▲第十一分會（中等學校）四五票 南部一郎 四一票 青木昌
▲第十二分會（病院）五〇票 羽牟武志 三七票 吉村寧儀 三五票 高橋善時 二九票 香取政夫
▲第十三分會（用度、營業）四五票 宮本清司
▲第十四分會（ホテル）四七票 石井淺吉 二四票 金子秀夫
▲第十五分會（消費組合）一七票 森貞一 四二票 橋口仲馬 同 蔭山兼長

歲末警戒は好績
更に舊正特別警戒へ

日滿警備機關が一糸亂れざる統制を保ち且つ涙ぐましい活動の結果さしもの新歲末特別大警戒は非常な好績をあげ僅か附屬地外に强盜事件二件を出したのみであつたが、同機關では舊歲末を控へたので更に警戒を嚴重にし今十日から晝夜の別なく全市に水も洩さぬ非常線をめぐらし舊歲末特別警戒の徹底を期することになつた

右に就き首都警察廳谷口警務科長は語る

舊歲末こそ自分等は實際の警戒である、毎年の統計から押しても重大犯罪は舊歲末に入つてから發生してゐる、この際自分達は一層の努力をはらつて國都の治安に當らねばならない、新歲末警戒を終つても實際は新しく舊歲末警戒に引續いてゐるので本廳員を初め管下各署員は緊張してゐるから一件の犯罪も未然に防ぐ考へだ

遭難？無事？京大生

去る十二月廿八日關東軍司令部を訪問せる際の記念寫眞

京大生遭難說は 根據益々薄弱
案外順調に前進中か

【ハイラル九日發國通】京大生遭難に關する現地一般の觀測は事實無根といふに殆んど一致してゐる、即ち

一、遭難現場を目擊せりと傳へらるゝ露人は今日まで遂に出で來らず、最初遭難談が持上つてゐたといふ某雜貨店につき取調べたるも當時在店の一露人が全く偶話的に「こんなに寒くては凍死者も多からう」と洩らせるに止まり全くつかみどころなし

一、日本人七、八名及び露人約三十名の凍死體を發見せりといふも京大生一行中には露人は一名も參加し居らず、又右近右人員に該當する旅行者あるを聞かず

一、五日遭難といふも學生隊は同日はビルト附近にて一泊六日朝元氣で右假泊地を出發せりとの情報あり前後の事情より此情報を以て先づ最近確實のものなりと見做さざるを得ず

要するに遭難は根據益々薄弱なるも當局は萬一を慮り既報決死隊捜査隊を續發せしめた外本日飛行機を飛ばせた譯でいづれ今日中には確然たる事實が判明するであらうが現地一般の觀測は學生團一行は多少の艱難を經たとしても案外順調に前進を續け着々目的地へ近づきつゝあるものとしてゐる

京大生見ゑず
捜索機空しく歸海

【ハイラル阪下國通特派員發至急報】京大生捜索機は九日午前十一時より三時間半に亘りアルシャン街道よりハンダガヤを經てアルシャン附近まで捜索したが京大生の姿と覺しき者見當らず空しく午後二時半歸着した尚明十日午前八時より第二回空中捜索を行ふ豫定である

今日捜査續行

【ハイラル九日發國通】第二回京大學生隊捜査飛行は明十日午前八時行はれるに決した

第二回捜査 動靜判明せん

【ハイラル九日發國通】第一回京大學生隊捜査機の不成功は高度を比較的低く取り主として捜査地點をハイラル・ハンダガヤ・ハロンアルシャンを結ぶコースに從つたので、第二回はハンダガヤの東方山岳地域ハロンアルシャンの方向に向けられることに決定した、同時に地上救援隊との連絡にも充分の努力が爲される筈であるから明十日の空中捜査によつて學生隊の動靜は判明するものと見られる

訪歐氷上選手の
送別競技會を觀て
森田貞一

筆者のそれ以上愉快に思ふ事は、滿洲生れ滿洲育ちの女性の網大なる體力持久力と健康さを物語るものとして實に喜ばしき極みである

なほさらに感激せしめた事は奉天の女流選手のほとんど全員が一日の競技にかゝわらず五〇〇米から五〇〇〇米まで全部參加して與れた事である

特に目立つた事は村山姉妹があの小さい身體で一周おくれても倚倦まず懸命に五〇〇〇米を完走してくれた事を思ふと自然と頭が下ると共に目頭があつくなつて來るのである競技に志ざす者は須らく此の意氣込で猛進してほしい

男子五〇〇〇米もオープンレースであつた關係上好記錄も出ず只興味本位のものになつてしまつて競技的にはその價値は少であたが、流石オリンピック派遣選手はじめ、在滿の一流だけあつて、最後までフオームにいさゝかの亂れを見せなかつた事は吾々の大に學ばねばならぬ所である、之全く練習の賜で練習も此處までやつてこそはじめて練習したと云ひ得るものだと思ふ

扨て新京側の選手の狀態を見るに、リンクの設備其他色々の事情で余儀ない點もあつたかと思ふが、一般に練習不足であつた爲め男子では大川田村、大谷の三君が僅かに新京軍の名譽を繼いでくれたのみで他に目覺しい活躍を見る事は出來なかつたが、以上三君は勿論他の選手諸君も充分な素質を持つてゐるし或は又過去に於て優秀なる記錄の保持者であるから練習次第では充分向上と復活を期し得ると信ずるのである

女子部に見ても男子同樣大谷伊藤兩孃をはじめ有望の選手候補を持つて居るから練習によつて伸びる事も男子と同樣である

重ねていふ、新京のスピードスケート界は人無きにあらず統制ある練習と周到なる鍛練によれば、來るべき都市對抗戰に於ては充分奉天撫順と對抗出來るものと確信す、選手諸君の奮起を望む

更にフイガーを見るにもとより筆者は其の技術的方面は云々する事は、出來ないが新京高女のフイガーゲームの現在の隆盛さは全滿一と云つても過言でなく、奉天高女のスピードと共に全滿女子スケート界に於ける雙璧として、衷心より敬意を表するものである

田中氏兄弟兩君がフイガーに精進された事は、非常なもので筆者が知つてからでも既に十年位になる兩君の天分と十年間の努力の結果は其の技を益々圓熟の域に達せしめ、新京は勿論全滿的にだても斯道の權威者たる事は今更贅言を要しない所である、最後に山口博士令夫人が特に御出場され祖國を旅立つ選手の送別大會にふさはしい光彩を添へて下さいました事に對して深甚なる敬意を表してペンをおく（完）

總局主任級異動 昨日發表

【奉天國通】滿鐵人事異動に附隨する總局人事異動は九日發表された、今回の異動は伊澤次長の東京支社長轉出及び總務處長の更迭を除けば先般行はれた職制改正の補足的小範圍に限られて居る、主任級の異動左の如し

總務處文書係主任 小菅尚次
命文書科勤務（洋行中） 本多靜
命文書係主任 人事科人事係事務員 小森仲
命人事係主任 人事科長兼人事係主任 折田有信
免兼務

尚專任輸送科長任命は一兩日中に發令の筈である

關東局保健所に 北原內科

市民の保健衞生と育兒の相談機關として廣く市民に利用されてゐる市內中央通關東局保健所は關東局職員家族の來京と共に職員の診察も多忙を極めてゐるので今回新に內科を設け醫學博士北原英夫氏が內科醫長として診療に當つてゐる

川村總領事 明朝出發龍井へ

間島總領事に榮轉の前新京總領事川村博氏は來る十一日午前十時廿八分發京圖線で龍井へ赴任することになつた尚新京總領事館では同氏の後任決定まで中野副領事がその事務を取扱ふ

神崎商業教授 內地視察へ

新京商業學校教諭神崎弗治氏は內地主要商業學校教育視察のため九日午前七時發ひかりで出發した、東京、近畿、中國、九州を廻り約三週間の豫定

恭賀新禧